慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラム



慶應義塾大学医学部

外科学教室

慶應義塾大学病院
慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラムのご紹介



新外科専門医制度においては、標準的な外科診療を安全・確実に実践し、国民の健康・福祉に貢献できる質の高い外科専門医を養成します。しかし、本プログラムではこの大きな目標にとどまることなく、さらに専門性の高い**外科関連サブスペ領域専門医を目指す専攻医**を募集します。基幹施設となる慶應義塾大学病院では、1920 年の創設以来今日にいたるまで、**外科学「大教室制度」**を構築・堅持し、一般・消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科を担当する各診療科が一つの教室として一致協力して効率的な外科専門医養成システムを運営してきました。新専門医制度においては、この大教室制度の利点、経験を十分に生かして**外科関連サブスペ領域と直結・連動**したプログラムを構成しました。

研修の最初の半年を慶應義塾大学病院で開始し、同期や先輩との交流を深めながら大学での様々な取り組みを学んでいただきます。その後関連病院に出向し 1 年目、2 年目それぞれで**豊富な手術症例数**と**レベルの高い指導医**を擁する連携施設で徹底的に臨床経験を積み、3 年目はそれぞれの専攻医が希望する外科関連サブスペ領域に重点をおいた研修、基礎・臨床研究、国際学会発表も含めた学術活動を開始し、**世界に羽ばたく Academic Surgeon** を養成致します。

特徴１：圧倒的な手術経験数：本プログラムでは豊富な手術症例数を有する基幹施設、連携施設において、3 年間で外科専門医必要経験手術数（350 例）のほぼ 2 倍の手術・診療経験ができます。

特徴２：バランスのとれた診療経験に基づく進路選択：本プログラムは創設以来外科学「大教室制度」を構築している慶應義塾大学病院とその連携施設において、各種外科関連サブスペ領域の研修をバランスよく経験した後に、希望の進路を選択できるシステムとなっています。大部分の専攻医が、研修 2 年終了までには、各領域の必要手術経験数を完了しています。

特徴３：多様な連携体制に基づく地域医療への貢献：基幹施設や大規模連携施設で最先端医療を研修するだけでなく、地域医療を支える中・小規模施設、外科医の日常診療を支える基本手技や日帰り手術を実践する診療所まで多様な連携・研修体制を構築することにより、専攻医が裾野の広い技術と見識を体得できるよう配慮し、地域医療の活性化を図って参ります。

特徴４：サブスペ連動型の多様なプログラム：研修 2 年目あるいは 3 年目からは希望するサブスペ領域に重点をおいた手術研修や、その領域に関する基礎あるいは臨床研究を開始します。この段階で臨床研究に重点を置いた医療科学系大学院コース、基礎研究を主とする医学研究系大学院に入学するコースも選択できます。

特徴５：世界に目を向けた学術活動の奨励：研修 1, 2 年目から国内の多くの学術集会での発表、論文執筆に関する基本的トレーニングの機会を与え、3 年目からは国際学会発表、英文論文執筆の指導を開始し、新しい知見を創出し、世界に発信できる真の Academic Surgeon の養成を目指します。

特徴６：専門医取得後の活躍の場を提供：外科専門医、外科関連サブスペ専門医取得後には、本プログラムの基幹施設、連携施設における指導者として思う存分活躍できる機会を作ります。多くの海外連携施設、研究機関への留学の機会を経て、世界の外科学、外科診療を先導する人材の育成を目指します。

令和 8 年 5 月
プログラム統括責任者
慶應義塾大学医学部外科学教室主任
志水秀行

1. 慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラムについて

本研修プログラムの目的と使命は以下の 5 点です。

1）専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
2）専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
3）上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
4）外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
5）外科領域全般からサブスペシャルティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと直結・連動すること

2. 慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラムの特徴

- 関東（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県）または中部（静岡県、山梨県）の広域にわたる施設と連携しております。
- 慶應義塾大学外科学教室は大教室制度を敷いており、本研修プログラムはサブスペシャルティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）の専門研修プログラムに直結・連動する予定です。
- 地域の 1 次・2 次・3 次医療の研修から無床施設での日帰り手術、大学病院または専門のセンターでの高難度手術まで、外科領域全般から専門領域まで幅広く研修することができます。
- 特に研修 1～2 年目は外科領域全般を幅広く研修し、優先的に術者、助手として多くの症例で研鑽を積むことが出来ます。
- 外科研修中より大学院コース、外科系臨床腫瘍医養成コースなどの選択も可能です。
- 専門医取得以降も連携施設で修練の継続が確保されており、その後の海外留学や開業など選択肢も多様です。

3. 研修プログラムの施設群

慶應義塾大学病院と連携施設（50 施設）により専門研修施設群を構成します。
本専門研修施設群では約 200 名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

【専門研修基幹施設】

名称	都道府県	1:消化器外科 2:心臓血管外科 3:呼吸器外科 4:小児外科 5:乳腺内分泌外科 6:その他（救急含む）	1. 統括責任者名 2. 統括副責任者名
慶應義塾大学病院	東京都	1. 2. 3. 4. 5. 6	1. 志水 秀行 2. 松田 諭 2. 藤野 明浩 2. 朝倉 啓介 2. 林田 哲

【専門研修連携施設】

No.				連携施設担当者名
1	国立病院機構埼玉病院	埼玉県	1. 2. 3. 4. 5. 6	早津 成夫
2	国立病院機構東京医療センター	東京都	1. 2. 3. 4. 5. 6	浦上 秀次郎
3	国立病院機構栃木医療センター	栃木県	1. 4. 5. 6	鈴木 慶一

4	栃木県立がんセンター	栃木県	1. 5	富川 盛啓
5	稲城市立病院	東京都	1. 4. 5. 6	平岩訓彦
6	川崎市立井田病院	神奈川県	1. 2. 5. 6	里舘 均
7	川崎市立川崎病院	神奈川県	1. 2. 3. 4. 5. 6	和多田 晋
8	さいたま市立病院	埼玉県	1. 2. 3. 4. 5. 6	髙橋 剛志
9	日野市立病院	東京都	1. 2. 4. 5. 6	藤田 晃司
10	平塚市民病院	神奈川県	1. 2. 3. 4. 5. 6	中川 基人
11	足利赤十字病院	栃木県	1. 2. 3. 5. 6	戸倉 英之
12	那須赤十字病院	栃木県	1. 4. 5	田村 光
13	静岡赤十字病院	静岡県	1. 2. 3. 4. 5. 6	新谷 恒弘
14	浜松赤十字病院	静岡県	1. 5. 6	西脇 眞
15	水戸赤十字病院	茨城県	1. 2. 5. 6	清水 芳政
16	栃木県済生会宇都宮病院	栃木県	1, 2, 3, 4, 5, 6	篠崎 浩治
17	済生会横浜市東部病院	神奈川県	1. 2. 3. 4. 5. 6	西山 亮
18	東京都済生会中央病院	東京都	1. 2. 3. 5. 6	原田 裕久
19	神奈川県厚生連 伊勢原協同病院	神奈川県	1. 4. 5. 6	森谷 弘乃介
20	永寿総合病院	東京都	1. 3. 5. 6	愛甲 聡
21	SUBARU 健康保険組合太田記念病院	群馬県	1. 2. 4. 6	谷 紀幸
22	医療法人財団 荻窪病院	東京都	1. 2. 4. 6	亀山 哲章
23	けいゆう病院	神奈川県	1. 2. 3. 5. 6	西 知彦
24	国際親善総合病院	神奈川県	1. 3	佐藤 道夫
25	埼玉メディカルセンター	埼玉県	1. 3. 5. 6	唐橋 強
26	佐野厚生総合病院	栃木県	1. 4. 5. 6	池田 謙
27	立川病院	東京都	1. 2. 3. 5	似鳥 修弘
28	多摩丘陵病院	東京都	1. 5	小澤壯治
29	日本鋼管病院	神奈川県	1. 3. 5. 6	柳 在勲
30	公立福生病院	東京都	1. 5	仲丸 誠
31	北里大学北里研究所病院	東京都	1. 3. 5. 6	石井 良幸
32	練馬総合病院	東京都	1. 4. 5. 6	栗原 直人
33	国際医療福祉大学三田病院	東京都	1. 2. 3. 5. 6	星本 相淳
34	川野病院	東京都	1	川野 幸夫
35	上尾中央総合病院	埼玉県	1. 2. 3. 4. 5	岡本 信彦
36	湘南東部総合病院	神奈川県	1. 3. 5	櫻井 嘉彦
37	国立がん研究センター中央病院	東京都	1. 3. 5. 6	高山 伸
38	国立がん研究センター東病院	千葉県	1. 3. 5	大西 達也
39	静岡県立静岡がんセンター	静岡県	1. 3. 5	坪佐 恭宏
40	東京医科大学八王子医療センター	東京都	1. 2. 3. 5. 6	河地 茂行
41	国立成育医療研究センター	東京都	1. 4	下島 直樹
42	東京都立小児総合医療センター	東京都	4	富田 紘史
43	赤坂見附前田病院	東京都	1. 3. 5	前田 祐助
44	山梨県立中央病院	山梨県	1. 2. 3. 4. 5. 6	後藤 太一郎
45	榊原記念病院	東京都	2	岩倉 具宏
46	横浜市立市民病院	神奈川県	3	吉津 晃
47	柏厚生総合病院	千葉県	1. 2. 3. 5. 6	諏訪 達志
48	湘南慶育病院	神奈川県	1. 6	志田 敦男
49	国際医療福祉大学熱海病院	静岡県	1. 5. 6	山田 六平
50	埼玉県済生会加須病院	埼玉県	1. 2. 3. 5. 6	岩本 一亜

4. 専攻医の受け入れ数について（外科専門研修プログラム整備基準 5.5 参照）

本専門研修施設群の年間 NCD 登録数は約 23,000 例、専門研修指導医は約 200 名です。本年度新たに 23 名の専攻医を迎えまして、現在の専攻医数は計 62 名です。

専攻医は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県、群馬県、山梨県、茨城県、静岡県の連携施設にて、現在研修中です。

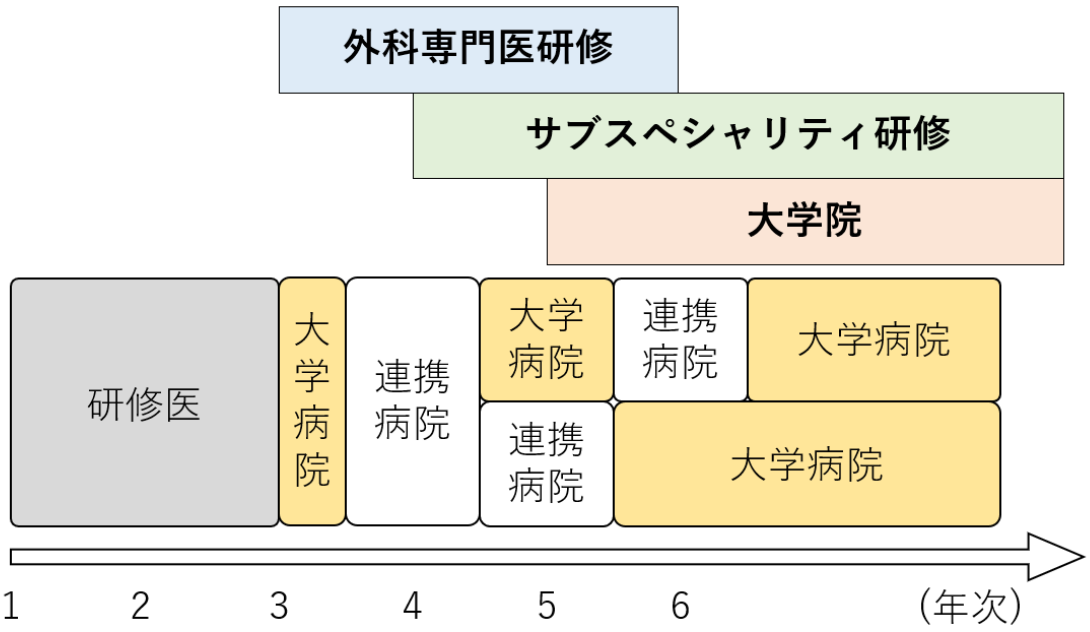
5. 外科専門研修について

1）外科専門医は初期臨床研修修了後、3 年の専門研修で育成されます。

- 3 年間の専門研修期間中、慶應義塾大学病院で 1 年、連携施設で 2 年（複数施設）の研修を行う予定です。
- 専門研修 3 年間の 1 年目、2 年目、3 年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。具体的な評価方法は後の項目で示します。
- 専門研修期間中に大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら研究を進めるならその期間は専門研修期間として扱われます（ただし、研究専念期間は 6 か月以内とします）。
- サブスペシャルティ領域連動型について現時点では未定ですが 3 年目（2 年目）よりサブスペシャルティ領域の研修に進んでいただきます。
- 研修プログラムの修了判定には規定の経験症例数が必要です。（専攻医研修マニュアル-経験目標 2-を参照）
- 初期臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例（NCD に登録されていることが必須）は、研修プログラム統括責任者が承認した症例に限定して、手術症例数に加算することができます。(外科専門研修プログラム整備基準 2.3.3 参照)

2）年次毎の専門研修計画

- 専攻医の研修は、毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。なお、習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照してください。
- 下図に慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラムの研修例を示します。3 施設は全て異なる医療圏に存在します。



- 専門研修 1 年目の最初の半年間は、慶應義塾大学病院で研修を積みます。外科学 5 診療科と麻酔科をローテーションします。ハンズオンセミナーを行い、気管切開、胸腔ドレーン、心エコー、腹部エコー、人工心肺、小児の点滴の手技を習得します。ロボット支援手術の助手サーティフィケイトを取得することもできます。また、系統的な座学講義を行います。
その後，連携施設に出向します。連携施設では基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的に開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learning や書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意

しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。

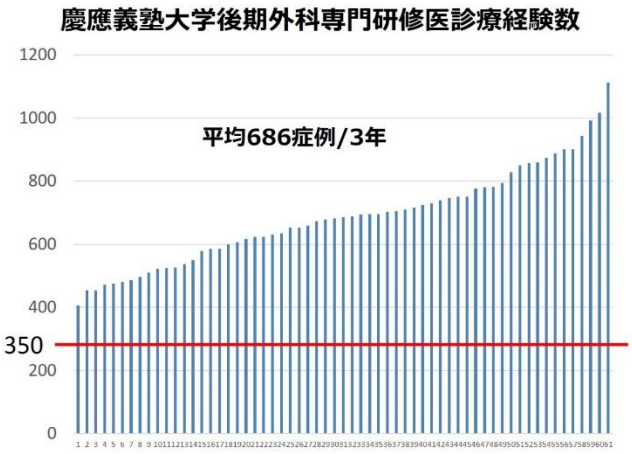
- 専門研修 2 年目では、連携施設 B で基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。
- 専門研修 3 年目では、慶應義塾大学病院でチーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。
- さらに、専攻医はサブスペシャルティ領域の専門医取得に向けた技能研修を開始します。大学院コースまたは外科系臨床腫瘍医養成コースを選択することも可能です。
- 慶應義塾大学外科研修プログラムでの 3 年間の施設群ローテートにおける研修内容と予想される経験症例数を下記に示します。どのコースであっても内容と経験症例数に偏り、不公平がないように十分配慮します。

・専門研修 1 年目

連携施設群 A のうちいずれかに所属し研修を行います。

一般外科／麻酔／救急／病理／消化器／心・血管／呼吸器／小児／乳腺・内分泌

経験症例 200 例以上　（術者 30 例以上）



・専門研修 2 年目

連携施設群 B のうちいずれかに所属し研修を行います。

一般外科／麻酔／救急／病理／消化器／心・血管／呼吸器／小児／乳腺・内分泌

経験症例 350 例以上/2 年　（術者 120 例以上／2 年）

・専門研修 3 年目

原則として慶應義塾大学病院でサブスペシャルティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）の専門研修を開始します。一般・消化器外科を選択した場合はさらに上部消化管、下部消化管、肝胆膵・移植、血管外科のグループを選択していただきますが、外科研修期間中はすべての領域を研修いたします。なお、不足症例に関して各領域をローテートします。

（大学院コース）

専攻医 3 年目以降大学院に進学し,臨床研究または学術研究・基礎研究を開始します。ただし,研究専任となる基礎研究は 6 か月以内とします。（外科専門研修プログラム整備基準 5.11）

- 慶應義塾大学外科研修プログラムの研修期間は 3 年間としていますが、習得が不十分な場合は習得できるまで期間を延長することになります（未修了）。

3）研修の週間計画（別紙参照）および年間計画

■基幹施設（慶應義塾大学病院例）

	月	火	水	木	金	土	日
7:30 朝カンファレンス				■			
8:00 -10:00 病棟業務	■	■	■	■	■	■	
10:00 -12:00 午前外来	■						
12:00 -14:00 午後外来			■				
9:00 - 手術		■		■	■		
15:30 -16:30 総回診	■						
17:30 - 放射線診断合同カンファレンス	■						
17:30 - 内科外科合同カンファレンス					■		
17:30 - 病理合同カンファレンス				■			
17:30 -18:30 医局全体ミーティング			■				

■研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール

月	全体行事予定
4	・ 外科専門研修開始。専攻医および指導医に提出用資料の配布 ・ 日本外科学会定期学術集会参加（発表）
5	・ 研修修了者：専門医認定審査申請・提出（未定） ・ 日本血管外科学会学術集会（参加・発表） ・ 日本呼吸器外科学会総会（参加・発表） ・ 日本小児外科学会学術集会（参加・発表）
7	・ 日本消化器外科学会総会（参加・発表） ・ 日本乳癌学会学術総会（参加・発表）
8	・ 研修修了者：専門医認定審査（筆記試験　未定）
9	・ 日本胸部外科学会定期学術集会（参加・発表） ・ 慶應内視鏡外科ワークショップ
11	・ 臨床外科学会参加（発表）
1	・ 慶應義塾大学外科フォーラム
2	・ 専攻医: 研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成（年次報告）（書類は翌月に提出） ・ 専攻医: 研修プログラム評価報告用紙の作成（書類は翌月に提出） ・ 指導医・指導責任者：指導実績報告用紙の作成（書類は翌月に提出） ・ 日本心臓血管外科学会学術総会（参加・発表）
3	・ その年度の研修終了 ・ 専攻医: その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出 ・ 指導医・指導責任者：前年度の指導実績報告用紙の提出 ・ 研修プログラム管理委員会開催

6. 専攻医の到達目標（習得すべき知識・技能・態度など）

- 専攻医研修マニュアルの到達目標 1（専門知識）、到達目標 2（専門技能）、到達目標 3（学問的姿勢）、到達目標 4（倫理性、社会性など）を参照してください。

7. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得（専攻医研修マニュアル-到達目標 3-参照）

- 基幹施設および連携施設それぞれにおいて医師および看護スタッフによる治療および管理方針の症例検討会を行い、専攻医は積極的に意見を述べ、同僚の意見を聴くことにより、具体的な治療と管理の論理を学びます。
- 放射線診断・病理合同カンファレンス：手術症例を中心に放射線診断部とともに術前画像診断を検討し、切除検体の病理診断と対比いたします。
- Cancer Board：複数の臓器に広がる進行・再発例や、重症の内科合併症を有する症例、非常に稀で標準治療がない症例などの治療方針決定について、内科など関連診療科、病理部、放射線科、緩和、看護スタッフなどによる合同カンファレンスを行います。

（例）慶應義塾大学（肝胆膵移植グループ）

	月	火	水	木	金	土	日
7:00 - 7:30 抄読会、勉強会	○			○			
7:30 - 8:30 HCC カンファレンス（外科、内科、放射線科）		○					
7:45 - 9:00 一般・消化器外科、小児外科カンファレンス（術後症例）				○			
17:30 - 術前・後症例カンファレンス		○					
17:00 - 放射線診断合同カンファレンス				○			
18:00 - 胆・膵クラスタカンファレンス（ERCP）			○				
17:30 - 病理合同カンファレンス				○			
18:00 - 一般・消化器、小児外科カンファレンス	○						
18:00 - 移植カンファレンス				○			

- 基幹施設と連携施設による症例検討会：各施設の専攻医や若手専門医による研修発表会を毎年 1 月に大学内の施設を用いて行い、発表内容、スライド資料の良否、発表態度などについて指導的立場の医師や同僚・後輩から質問を受けて討論を行います。
  （例）慶應義塾大学（肝胆膵移植グループ）
  5 月／11 月　信濃町肝胆膵外科ミーティング（年 2 回開催 大学、連携施設）
  7 月／2 月　肝胆膵臨床腫瘍カンファレンス
  （年 2 回開催 外科、内科、病理、放射線科、連携施設）
- 各施設において抄読会や勉強会を実施します。専攻医は最新のガイドラインを参照するとともにインターネットなどによる情報検索を行います。
- 大動物を用いたトレーニング設備（慶應内視鏡外科ワークショップ）や教育 DVD などを用いて積極的に手術手技を学びます。
- 日本外科学会の学術集会（特に教育プログラム）、e-learning、その他各種研修セミナーや各病院内で実施されるこれらの講習会などで下記の事柄を学びます。
  - 標準的医療および今後期待される先進的医療
  - 医療倫理、医療安全、院内感染対策　（慶應義塾大学病院で医療安全、院内感染対策セミナーをそれぞれ年 4 回開催）



院内安全対策セミナー・感染対策講習会
＜平成27年度 開催予定表＞

日程は変更になる場合もございますので、必ず事前のお知らせを確認してください。

※ 受講必須は、年内に受講をお願いいたします

開催内容	開催日	開催時間	開催場所		対象者
第65回 感染対策講習会（病院全教職員受講必須※）	平成27年5月20日(水)	eラーニング公開中			
第52回 院内安全対策セミナー（病院全教職員受講必須※）	平成27年6月2日(火)	eラーニング公開準備中			
第66回 感染対策講習会	平成27年7月15日(水)	17:30～18:30	北里講堂 大会議室	2会場開催	病院教職員
第53回 院内安全対策セミナー	平成27年7月24日(金)	17:30～18:30	北里講堂 大会議室	2会場開催	病院教職員
第67回 感染対策講習会	平成27年10月7日(水)	17:30～18:30	北里講堂 大会議室	2会場開催	病院教職員
第54回 院内安全対策セミナー	平成27年10月14日(水)	17:30～18:30	北里講堂 大会議室	2会場開催	病院教職員
第68回 感染対策講習会	平成28年1月 予定	17:30～18:30	北里講堂 大会議室	2会場開催	病院教職員
第55回 院内安全対策セミナー	平成28年1月 予定	17:30～18:30	北里講堂 大会議室	2会場開催	病院教職員

・「院内安全対策セミナー」と「感染対策講習会」は、各々年間30点取得（2回以上受講）が必要です。
・上記の予定は変更する場合があります。詳細については、開催前の通知文書をご確認ください。
・2号館の空調は集中管理のため会場内の温度調節はできませんので、予めご了承ください。

8. 学問的姿勢について

専攻医は、医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽、自己学習することが求められます。患者

の日常的診療から浮かび上がるクリニカルクエスチョンを日々の学習により解決し、今日のエビデンスでは解決しえない問題は臨床研究に自ら参加、もしくは企画する事で解決しようとする姿勢を身につけます。学会には積極的に参加し、基礎的あるいは臨床的研究成果を発表します。さらにえられた成果は論文として発表し、公に広めるとともに批評を受ける姿勢を身につけます。

研修期間中に以下の要件を満たす必要があります。（専攻医研修マニュアル-到達目標 3-参照）

- 日本外科学会定期学術集会に 1 回以上参加
- 指定の学術集会や学術出版物に,筆頭者として症例報告や臨床研究の結果を発表

9. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて（専攻医研修マニュアル-到達目標 3-参照）

医師として求められるコアコンピテンシーには態度、倫理性、社会性などが含まれています。内容を具体的に示します。

1）医師としての責務を自律的に果たし信頼されること（プロフェッショナリズム）

- 医療専門家である医師と患者を含む社会との契約を十分に理解し、患者、家族から信頼される知識・技能および態度を身につけます。

2）患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に配慮すること

- 患者の社会的・遺伝学的背景もふまえ患者ごとに的確な医療を目指します。
- 医療安全の重要性を理解し事故防止、事故後の対応をマニュアルに沿って実践します。

3）臨床の現場から学ぶ態度を習得すること

- 臨床の現場から学び続けることの重要性を認識し、その方法を身につけます。

4）チーム医療の一員として行動すること

- チーム医療の必要性を理解しチームのリーダーとして活動します。
- 的確なコンサルテーションを実践します。
- 他のメディカルスタッフと協調して診療にあたります。

5）後輩医師に教育・指導を行うこと

- 自らの診療技術、態度が後輩の模範となり、また形成的指導が実践できるように学生や初期研修医および後輩専攻医を指導医とともに受け持ち患者を担当し、チーム医療の一員として後輩医師の教育・指導を担います。

6）保健医療や主たる医療法規を理解し、遵守すること

- 健康保険制度を理解し保健医療をメディカルスタッフと協調し実践します。
- 医師法・医療法、健康保険法、国民健康保険法、老人保健法を理解します。
- 診断書、証明書が記載できます。

10. 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方

1）施設群による研修

本研修プログラムでは慶應義塾大学病院を基幹施設とし、関東（東京都、神奈川県、栃木県、茨城県、群馬県）または中部（静岡県、山梨県）地域の連携施設とともに病院施設群を構成しています。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。これは専攻医が専門医取得に必要な経験を積むことに大変有効です。大学だけの研修では稀な疾患や治療困難例が中心となり common diseases の経験が不十分となります。この点、地域の連携病院で多彩な症例を多数経験することで医師としての基本的な力を獲得します。このような理由から施設群内の複数の施設で研修を行うことが非常に大切です。慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラムのどのコースに進んでも指導内容や経験症例数に不公平が無いように十分配慮します。

施設群における研修の順序、期間等については、専攻医数や個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラム管理委員会が決定します。

2）地域医療の経験（専攻医研修マニュアル-経験目標 3-参照）

地域の連携病院では責任を持って多くの症例を経験することができます。また、地域医療における病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療などの意義について学ぶことができます。以下に本研修プログラムにおける地域医療についてまとめます。

- 本研修プログラムの連携施設には、その地域における地域医療の拠点となっている施設（地域中核病院、地域中小病院）が入っています。そのため、連携施設での研修中に以下の地域医療（過疎地域も含む）の研修が可能です。
- 地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携のあり方について理解して実践します。
- 消化器がん患者の緩和ケアなど、ADL の低下した患者に対して、在宅医療や緩和ケア専門施設などを活用した医療を立案します。

慶應義塾大学との連携施設一覧

1	国立病院機構埼玉病院	18	東京都済生会中央病院	35	上尾中央総合病院
2	国立病院機構東京医療センター	19	伊勢原協同病院	36	湘南東部総合病院
3	国立病院機構栃木医療センター	20	永寿総合病院	37	国立がん研究センター中央病院
4	栃木県立がんセンター	21	SUBARU 健康保険組合太田記念病院	38	国立がん研究センター東病院
5	稲城市立病院	22	荻窪病院	39	静岡県立静岡がんセンター
6	川崎市立井田病院	23	けいゆう病院	40	東京医科大学八王子医療センター
7	川崎市立川崎病院	24	国際親善総合病院	41	国立成育医療研究センター
8	さいたま市立病院	25	埼玉メディカルセンター	42	東京都立小児総合医療センター
9	日野市立病院	26	佐野厚生総合病院	43	赤坂見附 前田病院
10	平塚市民病院	27	立川病院	44	山梨県立中央病院
11	足利赤十字病院	28	多摩丘陵病院	45	榊原記念病院
12	那須赤十字病院	29	日本鋼管病院	46	横浜市立市民病院
13	静岡赤十字病院	30	公立福生病院	47	柏厚生総合病院
14	浜松赤十字病院	31	北里大学北里研究所病院	48	湘南慶育病院
15	水戸赤十字病院	32	練馬総合病院	49	国際医療福祉大学熱海病院
16	栃木県済生会宇都宮病院	33	国際医療福祉大学三田病院	50	埼玉県済生会加須病院
17	済生会横浜市東部病院	34	川野病院		

11.　専門研修の評価について（専攻医研修マニュアル-VI-参照）

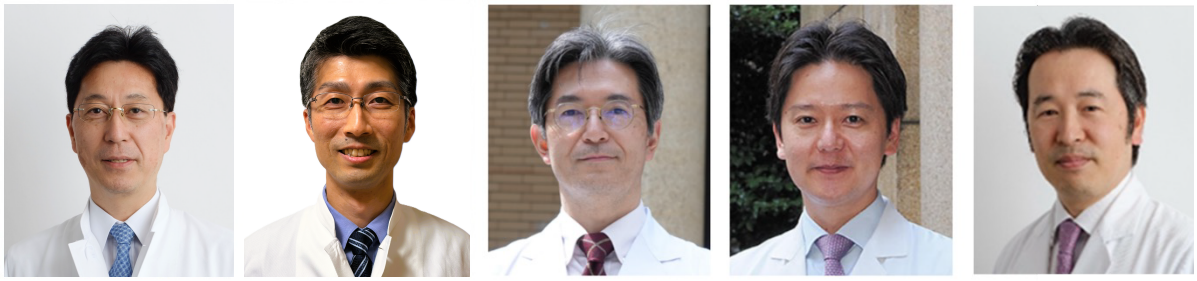
専門研修中の専攻医と指導医の相互評価は施設群による研修とともに専門研修プログラムの根幹となるものです。

専門研修の 1 年目、2 年目、3 年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価します。このことにより、基本から応用へ、さらに専門医として独立して実践できるまで着実に実力をつけていくように配慮しています。専攻医研修マニュアル VI を参照してください。

12.　専門研修プログラム管理委員会について（外科専門研修プログラム整備基準 6.4 参照）

基幹施設である慶應義塾大学病院には、慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラム管理委員会と、専門研修プログラム統括責任者を置きます。連携施設群には、専門研修プログラム連携施設担当者と専門研修プログラム委員会組織が置かれます。慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラム管理委員会は、専門研修プログラム統括責任者（委員長）、副委員長、事務局代表者、外科の 5 つの専門分野（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科）の研修指導責任者、および連携施設担当委員などで構成されます。研修プログラムの改善へ向けての会議には専門医取得直後の若手医師代表が加わります。専門研修プログラム管理委員会

は、専攻医および専門研修プログラム全般の管理と、専門研修プログラムの継続的改良を行います。



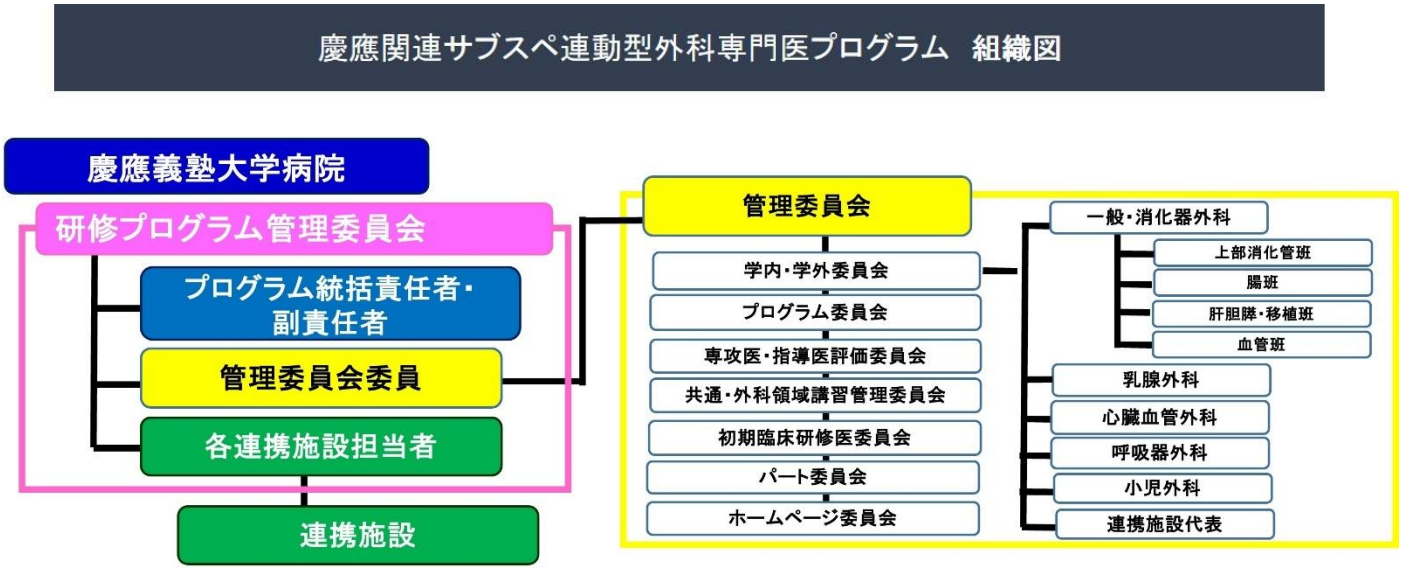
統括責任者
心臓血管外科
志水 秀行

副統括責任者
一般・消化器外科
松田　諭

副統括責任者
小児外科
藤野 明浩

副統括責任者
呼吸器外科
朝倉 啓輔

副統括責任者
乳腺外科
林田　哲



13.　専攻医の就業環境について

1）専門研修基幹施設および連携施設の外科責任者は専攻医の労働環境改善に努めます。

2）専門研修プログラム統括責任者または専門研修指導医は専攻医のメンタルヘルスに配慮します。

3）専攻医の勤務時間，当直，給与，休日は労働基準法に準じて各専門研修基幹施設,各専門研修連携施設の施設規定に従います。

14.　修了判定について

3 年間の研修期間における年次毎の評価表および 3 年間の実地経験目録にもとづいて、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか、症例経験数が日本専門医機構の外科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうかを、専門医認定申請年（3 年目あるいはそれ以後）の 3 月末に研修プログラム統括責任者または研修連携施設担当者が研修プログラム管理委員会において評価し、研修プログラム統括責任者が修了の判定をします。

15.　外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件

専攻医研修マニュアル VIII を参照してください。

16.　専門研修実績記録システム、マニュアル等について

研修実績および評価の記録

外科学会のホームページにある書式（専攻医研修マニュアル、研修目標達成度評価報告用紙,専攻医研修実績記録,専攻医指導評価記録）を用いて、専攻医は研修実績（NCD 登録）を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受けます。総括的評価は外科専門研修プログラム整備基準に沿って、少なくとも年 1 回行います。

慶應義塾大学外科にて、専攻医の研修履歴（研修施設、期間、担当した専門研修指導医）、研修実績、研修評価を保管します。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管します。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導者マニュアルを用います。

⊙専攻医研修マニュアル

別紙「専攻医研修マニュアル」参照。

⊙指導者マニュアル

別紙「指導医マニュアル」参照。

⊙専攻医研修実績記録フォーマット

「専攻医研修実績記録」に研修実績を記録し、手術症例は NCD に登録します。

⊙指導医による指導とフィードバックの記録

「専攻医研修実績記録」に指導医による形成的評価を記録します。

17. 専攻医の採用と修了

【採用方法】

慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラム管理委員会は、毎年 6 月から説明会等を行い外科専攻医を募集します。プログラムへの応募者は、

①日本外科学会ホームページより、本プログラムへの登録申請をして下さい。

②慶應義塾大学医学部外科学教室ホームページより『募集要項』をご確認いただき、所定の申請手続きを行ってください。ご不明な点は『問い合わせ先』を参照してお問い合わせください。

（URL：http://keiosurg.umin.jp/shokikenshui/index.html）

修了要件

専攻医研修マニュアル参照

慶應義塾大学専門医研修医･修了者からのメッセージ

外科学（一般・消化器外科）　藤原 弘毅（慶應義塾大学卒）



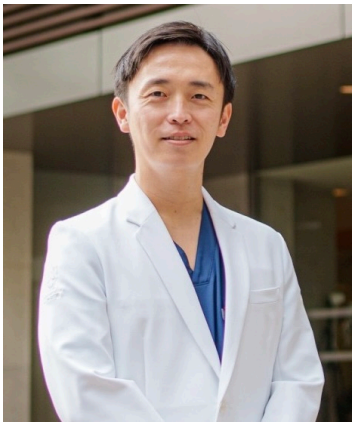
学生時代の手術見学で、外科医同士が協力して大きな手術を進めていく姿に「かっこよさ」を感じたことが、外科に興味を持ったきっかけでした。関連病院で初期研修を行った際、学会発表や内視鏡手技、執刀の機会まで手厚くご指導いただき、外科の大きなやりがいを実感するようになりました。日本のみならず世界をリードする諸先輩方を輩出している当教室で研鑽を積みたいと考え、毎年 20 名を超える入局者と切磋琢磨できる環境にも大きな魅力を感じて入局を決めました。D3 では 2 施設・2 年半の市中病院出張を通じて 400 件以上の執刀経験を積ませていただき、同期それぞれが各施設で身につけた強みを持ち寄り、帰室後も揃って働ける環境が整っています。一般・消化器外科は手厚い指導体制のもと臨床と研究の双方に取り組むことができ、国内外の学会発表や論文執筆も数多く経験できます。2023 年より D3 のローテーションが改訂され、大学病院で半年間すべての科を経験してから出張する、より安心感のあるプログラムとなりました。興味がありましたらぜひ医局説明会や病院見学にお越しください。

外科学（一般・消化器外科）　富田　祐輔（札幌医科大学卒）



入局者が多く、外科専門医取得に向けた研修環境がしっかり整っていることが、当教室を選んだ大きな理由です。同期の多さは日々の仕事における心強さにつながり、専攻医 1 年目から執刀の機会が与えられるため、若手のうちから多くの手術経験を積める点も大きな魅力でした。私は他大学出身で入局前はその点に不安を感じていましたが、実際には学年の約半数が他大学出身者であり、全国から入局者が集まる当教室では出身大学や出身地が話題になることはほとんどありません。すぐに馴染むことができました。専攻医 1〜2 年目は関連病院で執刀を経験して手術のおもしろさを知り、大学帰室後は他施設では経験しにくい高難度手術を目の当たりにして外科の奥深さを知ることができます。臨床だけでなく研究活動にも積極的に取り組み、Academic surgeon として研鑽を積める点も大きな強みです。研修医時代とは比べ物にならない仕事量に戸惑うこともありますが、同期や上司と協力・相談しながら乗り越えられる環境があります。慶應はどんな理想の外科医像にも対応できる数少ない医局だと感じますので、少しでも興味を持たれましたらぜひ一度見学にいらしてください。

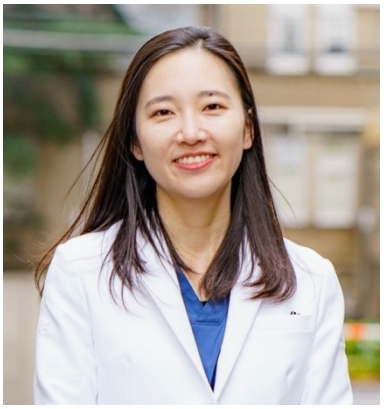
外科学（一般・消化器外科）　園田 啓太（慶應義塾大学卒）



学生時代のポリクリや初期研修中に出会った先生方の、手術に向き合う真摯な姿勢と圧倒的な技術に「かっこよさ」を感じたことが、当教室を志望した最大のきっかけです。出身大学や経歴に垣根がなく、「外科医として成長したい」「患者さんのために最善を尽くしたい」という同じ志を持つ仲間が集まる環境で、自分も妥協なく成長できると確信し、入局を決めました。入局前は症例経験を十分に積めるかという不安もありましたが、最初の 2 年間で 1,200 例を超える手術に参加し、うち 300 例以上で執刀医を務めさせていただきました。関連病院を多数擁する大教室ならではの、若手を圧倒的な経験値で鍛える基盤が整っています。日本をリードする先生方が、若手にも一人の医師として敬

意を持って接してくださる文化も魅力の一つです。国内外から多数の外科医が手術見学に訪れる環境で、日常的に学んでいる手術そのものが日本トップレベルの生きた教材だと感じます。責任の重い仕事だからこそ得られるやりがいは他に代えがたく、外科医は一生をかける価値のある最高の仕事だと思います。皆さんと共に切磋琢磨できる日を楽しみにしています。

外科学（血管外科）　堀之内　友紀（慶應義塾大学卒）



学生時代は外科に特に強い関心があったわけではありませんでしたが、初期研修中に血管外科という分野と出会い、そのおもしろさを知って外科全体に興味を持つようになりました。2 年間の初期研修だけでは専門を絞りきれず、幅広い分野を経験しながら専門を選べる当教室の環境に強く惹かれました。血管外科を十分に学べる医局は限られている中、慶應では診療分野の一つとしてしっかり学ぶことができ、本当に入局してよかったと感じています。入局前は女性外科医が少ないことや体力面への不安がありましたが、支えてくれる仲間と共にチームとして診療に向き合える環境があります。機会は性別に関係なく平等に与えていただき、むしろ女性であることが強みになる場面もあると感じます。血管外科領域では日々の診療を通じて専門的経験を積み、ステントグラフト実施医や下肢静脈瘤治療の資格取得の機会にも恵まれました。学会発表や研究活動、国際交流にも手厚いサポートがあり、私自身は欧州血管外科学会の若手育成プログラム日本メンバーとして活動しています。「やりたい」を形にでき、自分の可能性を最大限広げられる教室です。ぜひ一度見学にお越しいただき、教室の雰囲気を感じてみてください。

外科学（乳腺外科）　大儀　夏子（東京女子医科大学卒）



母が乳癌になったことがきっかけで、乳腺外科医を志して医師を目指しました。学生時代からその気持ちは揺らぐことなく、初期臨床研修で当院の外科と乳腺外科をローテートした際、指導してくださった先生方の熱意に感銘を受けて入局を決意しました。乳腺外科でありながらも、外科専攻医としての基礎をしっかりと積める環境に大きな魅力を感じたことも、当教室を選んだ大きな理由です。出身大学ではない環境で先生方や同期との関係性を築けるかが不安でしたが、温かく迎え入れていただき、人間関係で苦労することは全くありませんでした。外科学教室の中でも横のつながりが非常に強く、相談しやすい環境であることも実感しています。症例も十分に経験することができ、連携施設も多く、様々な病院の先生方と交流できる点も大きな魅力です。最初は手技を覚えるのに苦労しましたが、先生方の温かいご指導のおかげで一歩ずつ成長できています。乳腺外科は診断から手術、化学療法まで幅広く担える点が大きな魅力で、当科では外科手技もきちんと身に着けたうえで乳腺外科医を目指すことができます。ぜひ一度見学にお越しください。

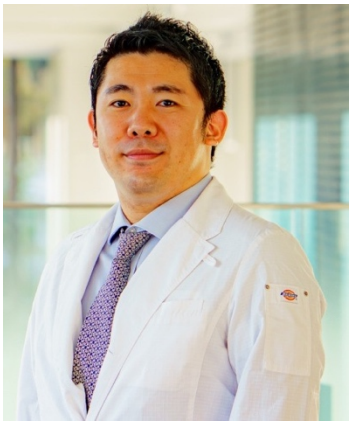
外科学（心臓血管外科）　西田 真由（東邦大学卒）



初期臨床研修で心臓血管外科に興味を持ち、この道に進むことを決めました。慶應の外科学教室を選んだのは、長い歴史と充実した研修体制があり、大教室制で入局者も多く、同じ志を持つ同期に恵まれる環境があると知ったためです。他大学出身のため、敷居が高いイメージのある慶應に飛び込むことへの不安もありましたが、実際には入局者の半数程度は他大学出身者であり、排他的な雰囲気は全くなく、外科レジデントとして過ごすうえで不自由を感じることは

ありません。他施設での経験を活かしつつチームで協力して働ける環境です。大教室制の魅力として、1年間は関連病院の一般外科で研修を行い、主治医として病棟管理に携わりながら積極的に執刀の機会を与えていただけるため、外科の基礎をしっかり学ぶことができます。外科専門医に必要な症例数を確保しやすい点も強みです。学会発表や論文投稿にも熱心にご指導いただける先生が多く、若手でも取り組みやすい雰囲気があります。直接患者さんの病態変化に関わる判断や手技が求められ責任の重さを感じる場面もありますが、先輩方や同僚と意見を交わしながら乗り越えられる頼もしいチームがあります。慶應と関連のなかった方にこそ、ぜひ一度説明会やイベントに参加していただきたいと思います。

外科学（呼吸器外科）　渡邉　真祥（東京医科大学卒）



当教室は大教室制度を採用しており、呼吸器外科を含む専修医は、少なくとも1年間の消化器外科研修を経て幅広い分野の外科を体系的に学ぶことができます。入局者数も全国的に上位で、多様なバックグラウンドを持つ先輩・同期と切磋琢磨できる環境が整い、専門医取得に必要な症例数や術者経験を十分に積める点にも大きな魅力を感じて入局を決めました。他大学出身で当初は馴染めるか不安でしたが、上級医・同期の先生方が分け隔てなく接してくださり、自然に教室の一員として溶け込むことができました。1年間の消化器外科ローテーションでも丁寧なご指導をいただき、外科医としての基礎を着実に身につけられます。呼吸器外科では、肺癌など胸部悪性腫瘍に対する標準手術に加え、気胸ホットラインや漏斗胸外来といった専門領域、他科合同の拡大手術や経皮的凍結融解壊死療法など、他施設では経験しにくい治療にも携われます。手術アプローチも単孔式・ロボット支援下から大開胸まで多様で、希望すれば国立がん研究センター中央病院・東病院でも研修できる点も大きな強みです。私自身は同東病院で1年間研修させていただき、現在は学位論文の執筆に取り組んでいます。興味を持たれた方はぜひ見学にお越しください。

外科学（小児外科）　工藤　裕実（慶應義塾大学卒）

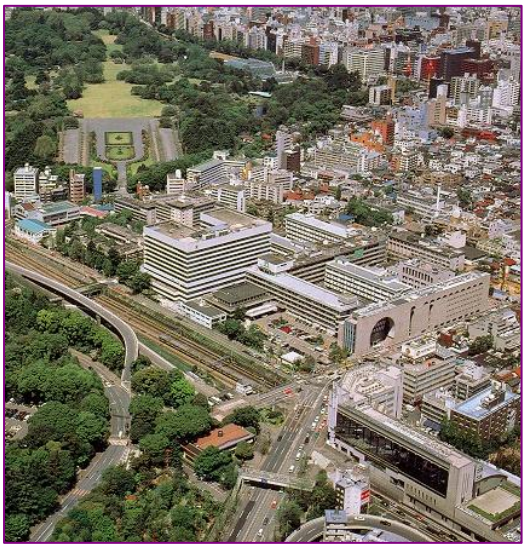


初期研修先のさいたま市立病院は小児外科を有する数少ない市中病院の一つで、当教室の先生方が患者さんやご家族から厚い信頼を寄せられながら丁寧に診療にあたる姿を間近で拝見しました。緊急の場面でも的確な判断で治療を行う姿に強い感銘を受け、自分もこどもとご家族の人生に寄り添える医師になりたいと強く思ったことが、当教室を志望した大きな理由です。関東近郊の豊富な関連施設に加え、国立成育医療研究センターや東京都立小児総合医療センターといった専門性の高い施設で研鑽を積める点、海外留学経験者も多く、臨床・研究両面で幅広いキャリア形成が可能な点にも大きな魅力を感じました。小児外科は人数が少ない分、ほぼ全員が毎日顔を合わせるアットホームな雰囲気があり、一つ一つの症例をじっくり検討しながら最善の治療を皆で探究する過程にやりがいを感じています。大教室制のため、一般消化器・呼吸器・心臓血管外科の先生方とも診療科を越えた連携が取りやすく、国内有数の研究環境で興味に沿った研究にも取り組めます。私は大学院進学と出産を経験しながら小児外科専門医と学位を取得でき、温かい支えに心から感謝しています。不安や迷いのある方もぜひ一度病院見学や説明会にお越しください。

慶應関連サブスペ連動型外科専門医研修プログラム施設紹介

基幹施設

【慶應義塾大学病院】





■一般・消化器外科：（http://www.hosp.keio.ac.jp/annai/shinryo/generalsurgery/）

【上部消化管班】：（https://www.surgery-med-keio.jp/ ）

１．診療内容：胃・食道のすべての疾患を対象として検査、手術（胸腔鏡・腹腔鏡手術）、内視鏡治療（ESD）、放射線治療、化学療法、緩和支持療法を行っており、すべての修練を行えます。
２．対象疾患：胃癌，食道癌，食道胃接合部癌，胃粘膜下腫瘍（GIST），食道粘膜下腫瘍，難治性胃・十二指腸潰瘍，食道アカラシア，食道胃逆流症，食道裂孔ヘルニア，食道憩室，特発性食道破裂など
３．特徴：胃・食道疾患に対して標準治療を画一的に施行するのではなく、大学病院ならではの「プラスα」を求めたより良い医療を提供できるように、現在胸腔鏡・腹腔鏡手術による低侵襲治療とセンチネルリンパ節生検による機能温存縮小手術，頭頸部領域も含めた上部消化管内視鏡診断と治療、進行癌に対する集学的治療や免疫療法等の先進的医療に積極的に取り組んでいます。
４．実績： 年間食道癌切除例約 50 例，胃癌手術例約 150 例（うち腹腔鏡手術約 90 例），内視鏡的切除（EMR/ESD）年間約 200 例.
５．専門医としての目標（資格）：外科専門医、消化器外科専門医、学位（医学博士）、食道外科専門医、内視鏡外科技術認定医、がん治療認定医

【大腸班】：（http://www.keio-colorectalsurgery.com/）

われわれは、日本で最初に腹腔鏡下大腸切除術を行った施設であり、歴史と伝統に基づく研修プログラムを有しています。腸疾患には悪性腫瘍だけでなく炎症性腸疾患・肛門疾患などの良性疾患も含まれるため、多くの疾患に対する深い造詣が要求されます。われわれは、診断から治療まで一貫して行うことができる外科医の育成を目指しています。手術はもちろんのこと大腸内視鏡検査や各種薬物療法にも積極的に取り組み、集学的治療において中心的役割を果たすことができるようにトレーニングを行います。また、次世代を担う世界をリードできる外科医を育成するために、新しい技術の導入・開発にも積極的に取り組んでおり、従来の手法にとらわれない新しい発想を活かした技術を学び、世界へ発信していく機会も多くあります。本研修プログラムを修了することで、消化器外科専門医さらに内視鏡外科技術認定医・大腸肛門病専門医取得に必要な修練を積むことができます。

【肝胆膵・移植班】：（http://www.keio-hpbts.jp/index.html）

肝胆膵・移植班は肝門部胆管癌に対して世界に先駆けて肝切除や血管合併切除を行い、黎明期を切り拓いてきました。同じく難治癌である膵癌に対してもいち早く術前化学放射線療法を導入し、さらに慶應独自の術後門注化学療法を加えることで、目覚ましく予後が改善しつつあります。本邦における腹腔鏡下胆嚢摘出術・肝切除術の導入・普及で決定的な役割を果たしてきたほか、肝細胞癌に対する局所治療としては凍結融解療法を日本で初めて導入し、その有効性を証明しました。移植領域においては禁忌とされた ABO 血液型不適合生体肝移植に対し世界で初めて移植後に門注療法を用いることで、パラダイムシフトを起こしました。
歴史的にも我々は創造性を豊かに育んできましたが、現在は肝胆膵領域のあらゆる疾患に対して、外科に加えて内科、放射線科が集う「肝胆膵クラスター」で自由闊達に協議し、最適の治療方法で臨む「全方位戦略」を診療の根幹としています。原発性・転移性肝腫瘍、胆道腫瘍、膵腫瘍いずれにおいても常に集学的治療を念頭に置きつつ、積極的に腹腔鏡下手術を取り入れ、また症例に応じて血管合併切除を含む拡大手術を多く行っています。非代償性肝硬変や急性肝不全に対しては生体・脳死肝移植を日本の主要施設のひとつとして手がけています。診断・治療に難渋した

症例は外科・内科・放射線科に加え病理学教室の肝胆膵グループと共に肝胆膵合同カンファレンスで詳しく検討して肝胆膵領域の診療体系全体の水準の向上を図っております。この体制の下、日本・世界を先導する次の世代を担う意欲的な外科医を育成すべく、プログラムを構築してあります。

【血管班】:(http://www.keio-vascularsurgery.com/)
一般・消化器外科血管班は、黎明期より本邦における血管外科診療を牽引してまいりました。閉塞性動脈硬化症、重症虚血肢、腹部大動脈瘤、腹部内臓動脈瘤、下肢静脈瘤、内シャント造設、さらに生体肝移植における血行再建にいたるまで、幅広く脈管疾患に対応しております。外科手術では人工血管置換術から Distal bypass 術まで、カテーテル治療ではステントグラフト治療から下腿への血管内治療まで、さらに顕微鏡下手術も手掛けております。また血管再生治療や生体吸収性ステントなどの臨床試験や、イノベーショナルな基礎研究にも積極的に取り組んでおります。主要関連施設における血管外科手術症例数は計 3,000 例/年に及び、経験豊富な指導医のもとで、専攻医が十分な血管外科手術経験を積むことが可能です。心臓血管外科専門医の取得のみならず、Open surgery から Endovascular surgery まで、血管外科のすべてを習得し、自立した血管外科医を養成するプログラムを準備しております。

■小児外科:(https://www.hosp.keio.ac.jp/shinryo/pedisur/)
小児外科では小児の呼吸器及び消化器・一般外科領域疾患を幅広く診療します。
慶應小児外科は慶應周産期・小児医療センターの中核科として、多くの先天異常、小児がん、小児救急そして肝・小腸移植医療、胎児治療からライフサイクル全体をカバーする成育医療につき小児病院と同等以上の医療を実践しています。ヒルシュスプルング病手術や小児内視鏡手術、小児肝移植・小腸移植医療など多岐にわたって、常に我が国の小児外科をリードしてきた歴史を持ち、基礎から最先端の医療を実践し、また発展させる場として最高の環境を有しています。多くの小児病院や大学病院のリーダーとなる小児外科医を輩出しており、その関連施設とは常に技術を競いつつ密接に連携しています。
小児外科プログラムでは、このような環境下で最も効率良く専門医・指導医へ向けた修練と小児外科疾患に対する最先端の研究の経験を積むことが出来ます。そして、最終的に世界で活躍し世に大きく貢献する小児外科医を養成することがプログラムの目標です。

■心臓血管外科:
(http://www.hosp.keio.ac.jp/annai/shinryo/cardiova/)又は(https://www.keio-cardiovascular-surgery.com/) 慶應義塾大学心臓血管外科は年間 250 例以上の開心術の他に胸部・腹部大動脈ステントグラフトや経カテーテル大動脈弁留置なども含めると年間 450 例の手術症例を有し、全国でも有数の心臓血管外科施設です。弁膜疾患、冠動脈疾患、大動脈疾患、先天性心疾患の各分野の手術を満遍なく施行している中でも、特に、低侵襲心臓血管治療を特色としており、小切開心臓手術、大動脈ステントグラフト、経カテーテル大動脈弁留置などを積極的に行っている点が大きな特徴です。心臓血管外科における修練では、低侵襲心臓血管治療を含めた各種心臓血管手術に多数参加し、手術に関する研鑽を積むほか、高度に発展している心臓血管外科手術の周術期管理や、呼吸循環器集中管理についての知識、経験を積むことができます。また循環器疾患の病態生理についての理解を深めることも目標としています。

■呼吸器外科:
(http://www.hosp.keio.ac.jp/annai/shinryo/thoracic/)
呼吸器外科は、肺癌の診断と治療において我が国で有数の高い水準と症例数を誇っています。肺癌を中心に、縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍、悪性胸膜中皮腫等の悪性疾患のほか、気胸、非定型抗酸菌症、膿胸、胸部外傷、漏斗胸などに対し、年間 300 例以上の手術を行っています。治療対象となる疾患は多種多様で、あらゆる胸部外科手術の修練が可能です。外科専門医を目指すにあたり、救急医療の基本である A（airway）B（breathing）C（circulation）の中でも、特に AB を当科で身につけることで一般外科医としての基本的な素養が身につき、どのような診療科で働く際にも役立ちます。私達は、世界で活躍出来る臨床能力および医学的知識を有する呼吸器外科医を育成することを目標としています。自由闊達な議論ができる開放的な教室ですので、出身校や性別に関わりなく、共に良い仕事をしたいと思っております。

■乳腺外科:(https://www.keiobreast.com/)
大教室制の利点を生かした、乳腺外科研修プログラムの特徴は、外科全般の手術・周術期管理の経験により外科専門医を最短で取得し、これに平行して乳癌診療の幅広い知識・技術の習得を行い、速やかに乳腺外科専門医を取得可能であることです。実際の研修では、病棟において乳癌手術を中心に手術手技や周術期管理の修練を行いますが、外来診療においては診察の手順や検査手技（画像診断・マンモトーム生検など）を学びます。また、乳癌の化学療法は当科で担当しているため、薬物療法の適応の検討や実施など、乳腺腫瘍内科的な考え方を同時に習得していくことが可能です。研究活動では、乳癌に関する本邦の基礎・臨床研究を牽引する実績を有し、最先端の研究環境で医学博士号の取得を目指すことが可能です。女性乳腺外科医の増加に伴い、当科では研修中の妊娠・出産に対する配慮が充実しており、これらは他の施設よりも多くの人員を擁する慶大外科の利点であると考えています。

【連携施設紹介:1. 国立病院機構埼玉病院】

(https://saitama.hosp.go.jp/) **連携施設担当者名:早津 成夫**



当院は、都心からほど近い埼玉県和光市に位置する 550 床の急性期病院であり、外科の全領域が修練可能です。がん拠点病院、救命救急センターとしてがん診療や救急医療に注力するとともに、一般外科症例も多数経験できます。また、食道、肝胆膵を含む全領域にわたり鏡視下手術を積極的に取り入れており、ロボット支援手術の導入も進めています。到達度に応じた独自の修練システムを導入し common disease から先端医療まで幅広く修練可能で、多くの術者症例も経験可能です。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:45 術前カンファレンス	○				○		
7:45-8:45 病棟カンファレンス、抄読会			○				
9:00- 手術	○	○	○	○	○		
9:00-12:00 上部内視鏡、造影検査	○	○		○			
9:15-10:00 回診	○	○	○	○	○		
9:30-回診						○	○
10:00-17:00 病棟業務	○	○	○	○	○		
13:30-17:00 大腸内視鏡	○	○		○			
18:00-19:00 消化器キャンサーボード(月 1 回)		○					

【連携施設紹介:2. 国立病院機構東京医療センター】

(http:// www.ntmc.go.jp) 連携施設担当者名:浦上　秀次郎



東京都区西南部に位置し、緑豊かな駒沢オリンピック公園に隣接する病床数 760 床の地域がん診療連携拠点病院です。専門研修指導医 14 名，内視鏡技術認定医 5 名，NCD 登録 2,000 例以上で、消化器，乳腺，呼吸器，心臓血管外科の研修を必要に応じ効率よく行うことができます。悪性疾患から胆石症，虫垂炎，鼠径ヘルニアまで鏡視下手術症例が豊富で、トレーニングセンターのシミュレーター等において日々研鑽を積むこともできます。急性腹症等の緊急手術や乳癌症例が多いのも特徴で、学会症例報告の機会も十分にあります。

【週間予定】

消化器外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 入院カンファレンス	○	○		○	○		
8:00-8:30 抄読会			○				
9:00-手術	○	○	○	○	○		
9:00-病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00-12:00　午前外来	○	○	○	○	○		
13:00-17:15 午後外来	○	○	○	○	○		
9:00-12:00　内視鏡検査	○		○		○		
13:00-検査・処置等	○	○	○	○	○		
15:00-17:15 術前カンファレンス		○					

乳腺外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 入院カンファレンス	○	○		○	○		
8:00-8:30 抄読会			○				
9：00-手術		○		○			
9:00-12：00　午前外来	○	○	○	○	○		
13:00-17:15　午後外来	○		○		○		
15:00-マンモトーム生検			○				
17:00-カンファレンス，マーキング	○			○			
17:00-病理カンファレンス					○		
20:00-ＭＭＧカンファレンス			○				

呼吸器外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:30-朝回診	○		○				
9:00-手術		○			○		
9:00-12:00　気管支鏡検査					○		
9:00-12：15　午前外来	○		○				
13:00-17:15　午後外来			○				
16:30-夕回診	○	○	○	○	○		
17:00-新入院カンファレンス	○						
17:00-退院カンファレンス，抄読会		○					
17:00-気管支鏡カンファレンス				○			

心臓血管外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 血管外科カンファレンス				○			
8:00-8:30 術前カンファレンス					○		
8:00-朝回診	○	○	○				
8:30-朝回診				○	○		
8：20-8：30　CCU カンファレンス	○	○	○	○	○		
9：00-手術	○		○	○			
9:00-12：15　午前外来		○			○		
13:00-17:15　午後外来		○			○		
17:00-18:00　抄読会					○		

【連携施設紹介:3. 国立病院機構栃木医療センター】
(http:// www.tochigi-mc.jp/) 連携施設担当者名:尾曲　健司



当院は明治 41 年陸軍病院として開設され，昭和 20 年に国立栃木病院として発足，平成 16 年に独立行政法人となりました．宇都宮市においては，地域二次救急輪番、感染症指定病院、災害拠点病院、地域医療連携拠点病院として、地域医療に大きく貢献しております．総病床数 350 床，外科病床は 50～55 床であり，手術症例は消化器疾患，乳腺，末梢血管など幅広い分野にわたります．

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30　抄読会・勉強会			○				
8:30-9:00　包交回診	○	○	○	○	○		
9:00-12:00　内視鏡・検査		○		○			
9:00-17:00　手術	○	○	○	○	○		
13:00-17:00　特殊検査		○	○				
16:00-17:00　病棟合同カンファ							
17:00-18:00　総回診				○			
17:00-18:00　消化器内科合同カンファ			○				
17:00-18:00　術前術後カンファ		○					

【連携施設紹介:4. 栃木県立がんセンター】

(http:// http://www.tochigi-cc.jp) **連携施設担当者名:富川 盛啓**



当院では各種がんに対する専門医が診断／手術／薬物療法／緩和治療について指導できる体制となっております。がんの診療を「診断から治療、そして看取りまで」、一貫して研修できることが他施設にはない特徴です。外科専門医、消化器外科専門医、乳腺専門医の取得をめざして、手術経験症例や学会発表及び論文作成の指導を行っています。内視鏡外科の技術認定の指導も積極的に行っております。有意義な研修生活が送って頂けるよう、スタッフ一同、丁寧な指導を心がけています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:30　キャンサーボード （病理，放射線診断部，放射線治療，腫瘍内科合同）	○		○				
8:30-9:00　回診	○	○	○	○	○		
9:00-　病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
9:00-　手術	○	○	○	○	○		
9:00-12:00　外来	○	○	○	○	○		
13:30-15:00. 所長・院長回診				○			
16:30-17:30 手術ビデオカンファレンス				○			
16:30-17:30. 肝胆膵症例カンファレンス(隔週)	○						
17:00-18:30　キャンサーボード （病理，放射線診断部，放射線治療，腫瘍内科合同）		○			○		
17:30-19:00. グランドカンファレンス				○			

【連携施設紹介:5. 稲城市立病院 】

(http:// www.hospital.inagi.tokyo.jp/) 連携施設担当者名:平岩　訓彦



当院は、東京都の多摩地区に位置する公立病院です。当院の外科は、一般・消化器外科を中心に、乳腺外科・小児外科の診療を行っております。年間約 450 件の手術を行っておりますが、外科専修医には、ほぼすべての手術に参加していただき、可能な限り術者として修練を積んでいただいております。また、上部および下部消化管内視鏡検査、腹部超音波検査等の消化器疾患の検査も修練していただきます。外科医として、消化器を中心とした主だった疾患において、診断から治療（手術）そして術後の管理まで行えるように指導させていただきます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 内科・放射線科合同カンファレンス					○		
8:30-9:00 回診	○	○	○	○	○		
9:00-　手術	○	○	○	○	○		
9:00-12:00 午前外来	○	○	○	○	○		
16:00- 病棟カンファレンス			○				
16:30- 手術カンファレンス			○				

【連携施設紹介:6. 川崎市立井田病院】

(http:// www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/) **連携施設担当者名:里舘　均**



川崎市立井田病院は最寄り駅が東急東横線日吉駅で、343 床のがん診療連携拠点病院です。2 次救急を担う救急センターや結核専用病棟、緩和ケア病棟も併設しています。症例 1 例 1 例を大切に検討する事に力を入れています。手術の研修は年単位の成長を考え、段階的に施行部位を増やす教育法を採用しています。また、外科医は手術のみならず、術前の画像・内視鏡診断から切除標本の顕微鏡所見まで学ぶ事が大切と考え、それらも教育に取り込んでいます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:30-9:00 病棟回診	○	○	○	○	○		
9:00- 手術	○		○		○		
9:00-　内視鏡・透視		○		○			
16:15-多職種病棟カンファレンス				○			
16:00-消化器キャンサーボード		○					

【連携施設紹介:7. 川崎市立川崎病院】

(http:// www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/) **連携施設担当者名:和多田 晋**



川崎市立川崎病院は都心からの交通も便利な川崎市南部地区の基幹病院で、手術症例が豊富で外科専門医研修の基準を満たすのみならず、外科医として貴重な様々な経験を積むことができます。環境面では、総合医局に個人のスペースも確保され、インターネットを含む LAN も完備しています。そして常設の医局秘書が種々の業務をこなしてくれます。また、NCD 登録専任の医師事務作業補助がいるため、煩わしい入力作業がなく臨床に専念できます。あと、一般外科では珍しく女性の外科担当部長がいるため、なかなか男性の上司には話せないことも相談することができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:30-9:00 術前カンファレンス				○			
8:30-9:00 術後カンファレンス					○		
14:00-15:00 部長回診	○			○			
9:30-12:00 包交回診	○	○	○	○	○	○	○
9:00- 手術	○	○	○	○	○		
8:30-9:00 抄読会等			○				
9:00- 造影、内視鏡等検査処置		○		○			
18:00-19:00 内科放射線診断科病理合同カンファレンス				○			

【連携施設紹介：8. さいたま市立病院】

(http://saitama-city-hsp.jp) 連携施設担当者名：髙橋 剛志



当院には外科（消化器外科、乳腺外科、末梢血管外科を担当）、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科があり、この 4 科で年間約 1,600 件以上の手術（NCD 登録）を行っています。4 科合わせてスタッフは 18 名です。したがって当院では外科専門医研修に必要な各領域の研修ができます。ここ数年の外科後期研修医の数は 1～3 年生合わせて 3～6 名です。研修医 1 人の執刀数は年間 110～140 例で、当院外科での研修により十分な経験を積むことができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
9:15～9:30 回診前カンファランス	○	○	○	○	○	○	
9:30～10:30 病棟回診	○	○	○	○	○	○	
9:00～17:00 手術	○	○	○	○	○		
9:00～12:00 X 線検査				○			
9:00～12:00 上部消化管内視鏡検査					○		
（火）9:00～12:00 （木）13:00～17:00 下部消化管内視鏡検査		○		○			
7:45～8:30 勉強会 抄読会（隔週）					○		
17:00～19:00 術前・術後カンファランス			○				

【連携施設紹介:9. 日野市立病院】
(http://hospital.city.hino.tokyo.jp./) 連携施設担当者名:藤田 晃司



日野市立病院外科は月曜日から金曜日まで毎日が予定手術日で、手術全体の中で緊急手術の占める割合は約 25%です。消化器疾患を診断すべく内視鏡検査も毎日行っています。取り扱う疾患の特徴としては、手術手技の基本となる急性虫垂炎と鼠径ヘルニアが年間の術件数として 100 件を超えていること、また多摩地区に長期にわたって住んでいらっしゃるお年寄りが多いことと高齢者施設が多数存在するため 80 歳代を中心とした急性期の胆道系疾患や大腸がんを中心とした悪性疾患が大学病院に比較して多く存在していることが挙げられると思います。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:45- 8:30 外科術前カンファレンス					○		
7:30- 8:00 内科・外科カンファレンス		○					
8:00- 8:30 抄読会、病理カンファレンス、ビデオクリニック		○					
8:30-17:00 病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30-12:00 病棟業務(第 1, 3, 5)						○	
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○	○		
13:30-17:00 午後外来	○	○	○	○	○		
17:00-18:00 部長回診、外科カンファレンス			○				
9:00-17:00 手術	○	○	○	○	○		
9:00-12:00 手術(第 1, 3, 5)						○	

【連携施設紹介:10. 平塚市民病院】

(http://www.hiratsuka-city-hospital.jp/)　　**連携施設担当者名:中川　基人**



平塚市は湘南西部二次医療圏に属する神奈川県の海岸線ほぼ中央にある都市です。

平塚市民病院は地域の中核病院として高度急性期医療を担っており、中でも外科診療においては外科(消化器外科・血管外科・乳腺外科・救急外科)、心臓血管外科、呼吸器外科の各科が有機的に連携した良いチームワークの中で医療を展開しています。

我々は一件でも多くの手術を地域住民に提供することを使命と考えていますが、同時に明日の日本の外科治療を背負って立つ若手医師の育成にも全力で取り組んでいます。

1年間の手術件数は 1,200 件を超え、専攻医一人当たりの参加手術件数は 3～400 件、執刀件数も 150 件前後と豊富な手術経験が可能です。内視鏡外科技術認定を持つ医師が6名在籍し高水準の低侵襲治療を得意としながら、心臓血管外科や肝胆膵外科高難度手術といった高難度・高侵襲の外科診療にも力を入れております。高度救急救命センターも有しており、外科医に必要な全身管理や高度集中治療の知識・経験を網羅的に修得することが可能です。学術活動にも力を入れて特に論文作成を重要視しており、2019～21 年の 3 年間の執筆業績 35 編のうち 9 編を専攻医が執筆しました。働き方改革にも積極的に取り組んでおり、専攻医においても休診日の 1/3～1/2 はオンコールフリー、当直業務明けの午後休を確保しています。

都心からほど近く、湘南の海と山に囲まれた自然豊かな環境のもと、充実した外科医としての生活を一緒に送りましょう。

【週間予定】

※休診日は回診番スタッフ 1 名と専攻医 1 名の 2 名で病棟業務を行い、特に緊急の業務がなければ概ね午前中で退勤します。

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 手術ビデオカンファレンス							
8:00-8:30 抄読会							
8:00-8:30 消化器合同カンファレンス							

8:30–9:00 臨床カンファレンス							
9:00–12:00 消化器内視鏡業務							
9:00–12:00 外来業務							
9:00– 手術							
16:00– 術前症例検討カンファレンス							
17:00– 乳腺カンファレンス							
17:30– 休日前回診・カンファレンス							

【連携施設紹介:11. 足利赤十字病院】
(http:// www.ashikaga.jrc.or.jp) 連携施設担当者名:瀬尾　雄樹



2011 年に一般病床全室個室で免震構造の新病院に移転し、2015 年に患者安全と医療の質の改善を目指す米国版機能評価 JCI の認証を取得しました。救急医療、心臓血管外科、呼吸器外科も充実し、小児外科を除いた殆どの研修が可能です。消化器外科は腹腔鏡下手術に重点を置き、毎年夏に福島県でセミナーを開催、鏡視下手術トレーニングを行っています。ラパコレから始まり、胃癌に対する LAG リンパ節郭清から再建まで積極的に術者を経験してもらっています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 症例・術前カンファレンス	○			○			
9:00-11:30 内視鏡検査	○			○			
9:00-11:30 回診	○	○	○	○	○	○	○
13:00-17:00 検査・処置	○			○			
9:00- 手術	○	○	○		○		
17:00- 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○

【連携施設紹介:12. 那須赤十字病院】
(http:// www.nasu.jrc.or.jp/) 連携施設担当者名:田村 光



当院は、栃木県北部では唯一の救命救急センターを有する 460 床の病院です。2012 年 7 月 1 日新築移転しました。2 次 3 次救急に対応している関係で外科の症例は多種多様です。消化器（食道、胃、小腸、大腸、肝・胆・膵）の癌・良性腫瘍や消化管出血、消化管穿孔、異物誤飲、腹部外傷、ヘルニア（成人、小児）、虫垂炎、胆道結石、憩室炎、乳癌、良性乳腺疾患（良性腫瘍、乳腺炎、etc）などを対象疾患とし、NCD 登録症例数は、年間約 800 例です。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-7:30 抄読会、勉強会				○			
7:00-8:00 朝カンファレンス	○	○	○	○	○	○	
8:00-10:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
10:00-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○		○		○		
16:30-放射線合同カンファレンス		○		○			

【連携施設紹介:13. 静岡赤十字病院】

(http:// www.shizuoka-med.jrc.or.jp) 連携施設担当者名:新谷恒弘



静岡赤十字病院は、「人道」「博愛」の赤十字精神にのっとり、安心して身を任せることができる医療を提供することを理念とする総合病院です。外科系の診療科として、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科を有しており、手術、周術期管理、上下部胆道の内視鏡検査と処置、NST、緩和ケアなどのチーム医療、学会活動、多岐にわたる修練を経験でき、一般外科医療に関する標準的な知識と技術を習得することができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:45～SPC(第 3 木)				○			
8:30～12:00　午前外来			○				
9:00～　手術	○			○	○		
9:15～10:00　回診		○					
12:00～　緩和ケアカンファ				○			
14:00～　NST カンファ		○					
16:00～　治療方針カンファ					○		
16:00～　抄読会				○			
16:30～　外来緩和カンファ(第 1・3)				○			
17:00～　勉強会					○		
17:00～　術前・術後カンファ			○				

【連携施設紹介:14. 浜松赤十字病院】
(http://www.hamamatsu.jrc.or.jp)　**連携施設担当者名：　西脇 眞**



静岡県西部の浜松市浜北区に位置する地域中核病院で、県の災害拠点病院に指定されており、救急医療にも力を入れています。診療科目は、一般消化器外科（上下部消化管、肝胆膵）、乳腺・甲状腺外科、呼吸器外科、末梢血管外科です。腹腔鏡手術も積極的に取り入れており、年間手術症例約 750 例、全身麻酔症例約 400 例で、腹腔鏡手術約 150 例です。上下部内視鏡検査、ERCP など、内視鏡検査や治療も外科を中心に行っており、ESD, EMR, EST 及び消化管、胆道ステント治療も学ぶことができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:30　朝カンファレンス		○					
7:45-8:30　症例カンファレンス			○				
7:45-8:30　病理合同カンファレンス					○		
8:00-10:00　病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30-12:30　午前外来	○	○	○	○	○		
10:00-　手術	○	○	○	○	○		
13:30-15:30　午後専門外来	○	○	○	○	○		
15:30-16:30　総回診	○	○	○	○	○		
17:30-18:30　消化器内科合同カンファレンス			○				

【連携施設紹介:15. 水戸赤十字病院】

(http:// www.mito.jrc.or.jp) 連携施設担当者名:清水 芳政



当院は茨城県水戸市内にある総合病院で外科手術数は年間約 1,100（胃 120　大腸 250　乳腺 180　血管 150 など）例。消化器外科のほか乳腺、血管外科の専門医を含むスタッフと、研修医（レジデント）がペアとなって診療にあたっている。開腹、開胸手術はもとより、腹腔鏡下手術、内視鏡治療、IVR など幅広く多彩な手技の修得が可能。各領域の診断から治療さらに緩和医療に至るまで総合的な能力を養うに適した研修施設である。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 内科外科放射線科合同カンファレンス	○						
8:00-9:00 外科手術症例カンファレンス		○			○		
9:00- 病棟回診	○	○	○	○	○		
9:30- 手術(一般・消化器)	○	○	○	○	○		
9:30- 手術(乳腺・血管)		○	○		○		
9:00-12:00/13:00-17:00 外来	○	○					
9:00-12:00/13:00-17:00 検査(内視鏡等)	○	○	○	○	○		
17:00- 放射線科合同乳腺カンファレンス				○			
17:00- 大腸カンファレンス				○			

【連携施設紹介:16. 済生会宇都宮病院】
(http:// www.saimiya.com/) 連携施設担当者名:篠崎 浩治



済生会宇都宮病院外科は年間 1,500 件を超える NCD 登録手術件数を有し、消化器癌の高難度手術（日本肝胆膵外科学会高度技能修練施設（施設 B）認定施設）を始めとして、乳癌や腹部緊急疾患を含む良性から悪性疾患に対する幅広い領域の治療を行っています。また、外科の基本的手術である鼠径ヘルニア手術（年間約 150 件）や急性虫垂炎手術（年間約 120 件）も多数経験することが出来ます。さらに、救命救急センターが併設され腹部救急疾患の症例も多数ありますので、幅広い豊富な症例を経験する事が可能です。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 抄読会、勉強会						○	
7:00-8:30 術前カンファレンス		○					
8:30-9:30 病棟回診	○	○	○	○	○	○	
7:30-9:30 科長回診				○			
9:00- 手術	○		○		○		
7:30-8:30 手術症例カンファレンス	○						
8:00-8:45 Cancer board			○				
8:00-8:45消化器内視鏡カンファレンス					○		

【連携施設紹介:17. 済生会横浜市東部病院】
(http:// www.tobu.saiseikai.or.jp/) 連携施設担当者名:西山　亮



われわれの研修の特徴は①外科領域ほぼすべてを研修すること（消化器外科・乳腺外科・血管外科・小児外科・呼吸器外科）、②救急部と一体的に運営していることから、全国でも有数の重症外傷センターで Acute care surgery を豊富に研修できること、③年間手術症例が 2,000 件以上あり、多数の手術を経験できることです。また手術支援ロボットダヴィンチでの胃癌手術、ハイブリッド手術室での血管手術・外傷手術、サイバーナイフによる放射線治療など東部病院でなければ経験できない最先端医療を行っております。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:45－8:30　術後ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	○						
7:30－8:30　術前ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ/放射線診断科合同ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ			○				
7:45－8:45　消化器クラスターキャンサーボード					○		
8:00 -9:00　病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00 -　手術/外来	○	○	○	○	○		
10:00 - 病棟回診						○	○
18:00-19:00 抄読会・勉強会	○						

【連携施設紹介:18. 東京都済生会中央病院】

(http:// www.saichu.jp/) **連携施設担当者名:原田 裕久**



当院は都心の区中央部医療圏における中核施設のひとつであり、535 床の高度急性期病院です。港区初の三次救急医療機関であり、外科としては広く分け隔てのない医療と積極的な救急対応を行っていること、充実した総合力を武器に慢性疾患を合併した高リスク症例の手術を積極的に行っていることなどによって数多い周辺の大型医療施設に引けを取らぬ安定した症例数と実績を保持しています。

一般・消化器、心臓血管、呼吸器、乳腺、血管外科の 5 つの専門診療科で総勢 20 数名の外科チームを形成していますが、外科内での横の繋がり、また他科との連携が非常によいのも特長で充実した修練が可能です。

100 年以上の歴史を誇る当院ですが、14 階建ての新棟にはハイブリッド手術室、救急救命病棟/ICU、GICU など外科関連の施設が充実しており、また 2022 年には手術支援ロボット hinotori を導入するなど研修には最高の環境が整っています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:15 朝ミーティング	○						
8:40-9:00 朝ミーティング		○	○	○	○		
8:15-8:45 内科・外科・放射線科合同カンファレンス	○						
8:00-8:30 術前カンファレンス		○					
9:00- 手術または病棟業務	○	○	○	○	○		
17:00-18:00 カンファレンス・勉強会	○	○					

【連携施設紹介:19. 伊勢原協同病院】
（https://www.iseharahp.com/）　連携施設担当者名：森谷　弘乃介

当院は 350 床の急性期地域基幹病院です。外科スタッフは 5 名で上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺の各専門医師が専門的知識に基づいた教育を行っています。近年、消化器外科領域で重視される内視鏡外科技術認定医も 2 名常勤しており、胆嚢・虫垂・ヘルニアをはじめ、胃・大腸・小腸などの腹腔鏡手術の指導を積極的に行っています。過去 3 年間（平均）の専修医の術者経験数（年間）は約 320 例、助手経験数は約 260 例と、実際の手術をより多く経験してもらうことを念頭とした教育プログラムを用意しています。



【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:30–9:00 回診(各初診日の担当医が担当)	○	○	○	○	○	○	
9:00–12:30 内視鏡検査			○	○			
9:00– 手術	○	○	○	○	○	○	
17:00–17:30 術前カンファ・病棟カンファ	○						
17:30–18:00 内科外科合同カンファ	○						
18:00– 死亡症例カンファレンス(死亡例があるときのみ)	○						
土曜日は第 2，4 のみ（1，3，5は休み）							

【連携施設紹介:20. 永寿総合病院】
(http:// www.eijuhp.com) 連携施設担当者名:愛甲 聡



当院は上野駅から徒歩 5 分と利便性に恵まれ、急性期病床 384 床と緩和病床 16 床を有します。外科では、1 年間に大腸癌 70 例、胃癌 30 例、胆摘 80 例、専門医による肝・膵切除 20 例、食道癌・乳癌各々10 例程の手術が行われ、およそ 8 割が腹腔鏡下手術です。後期研修医は 1 名体制のため、かなり多忙ですが、年間 100 例のヘルニアと、60 例の虫垂炎のほぼ全例に術者として携わることで、基本的手術手技は早期に身に付きます。そして、5 人の指導医による集中的な研修により、多くは腹腔鏡下の胃・大腸切除を安全に執刀できるようになって、1 年を締めくくります。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00- 病棟回診	○	○	○	○	○	○	○
8:30-9:10 病棟総回診	○	○	○	○	○	○	
9:10-12:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
9:00-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
13:30-17:00 午後外来	○	○		○			
9:00- 手術	○		○		○		
13:30- 手術	○	○	○		○		
17:30- 放射線診断合同カンファレンス＋抄読会	○						
13:30- 病棟カンファレンス		○		○			
9:10- 午前内視鏡		○		○		○	
13:30- 午後内視鏡		○		○			

【連携施設紹介:21. SUBARU 健康保険組合太田記念病院】

(https://www.ota-hosp.or.jp) **連携施設担当者名:谷 紀幸**



当院は群馬県南西部の太田・館林地域における三次救急医療機関です。外科研修は 5 名のスタッフと研修医で主に消化器外科領域の治療を担っております。年間 650 件程度の手術を行っており、数多くの執刀手術経験や外科臨床を研修することができます。また、心血管や小児など他の領域の研修に関しても柔軟に研修相談に応じることができます。特に循環器治療に関しては心血管センターとなり幅広い治療に対応できるようになり、外科研修中に合わせて研修が可能です。また、三次救急として埼玉県北部や栃木県南部からの搬送もあることから外傷手術に関しても研修機会が十分に得られる環境です。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7.30-8.30　術前患者・入院患者カンファレンス			○				
8:30-10:00　病棟業務・回診	○	○	○	○	○		
9:00-12:00　外来							
9:00-　　手術	○	○	○	○	○		
17.00-　　消化器内科・外科合同カンファレンス		○					

【連携施設紹介:22. 荻窪病院】

（http:// www.ogikubo-hospital.or.jp）連携施設担当者名：亀山 哲章



荻窪病院は、東京都杉並区において、急性期医療を行っている病院です。外科においては、消化器外科領域の手術を約 800 件／年間施行しております。特長としては、胃癌、大腸癌を始め、肝胆膵領域、食道癌、急性腹症にいたるまで、腹腔鏡手術を幅広く施行しており、400 件／年間以上の腹腔鏡手術を研修できます。また、消化器内科との合同カンファレンスや、化学療法カンファレンスを行う等、診断から手術手技、化学療法に至るまでの、総合的な研修を心がけております。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:30-　消化器カンファレンス			○				
8:30-　化学療法カンファレンス				○			
9:00-17:30　病棟業務・外来	○	○	○	○	○	○	
9:00-17:30　手術	○	○	○	○	○	○	
9:30-11:00　総回診		○					
17:30-　総合カンファレンス		○					
17:30-　病棟カンファレンス			○				

【連携施設紹介:23. けいゆう病院】

(http:// www.keiyu-hospital.com)　連携施設担当者名:西 知彦



けいゆう病院は平成 8 年にみなとみらい地区に移転し、全ての病室から横浜の海が見渡せるという立地に恵まれた病院です。外科は平成 26 年度より上部・下部消化器、肝胆膵、乳腺、血管、呼吸器の専門医が揃う構成となりました。従って幅広い疾患を対象にし、安全で低侵襲な手術を目指しており、胸腔鏡下・腹腔鏡下手術の推進に取組んでいます。専攻医の先生方にはより多くの術者、研鑽を積めるよう日常診療から協力していきたいと思います。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:30- 病棟回診	○	○	○	○	○	○	
9:00- 外来		○	○	○	○		
9:00- 検査(A・B)		○			○		
9:30- 手術	○		○	○	○		
13:30- 部長回診		○					
13:30- 症例カンファレンス		○					
13:30- 検査(B・C)		○			○		
15:00- 検査(B・C)		○			○		
17:30- 放射線科・内科・外科合同カンファレンス		○					
19:00- 外科抄読会・連絡会		○					

※検査 A：胃透視・注腸・上部消化管内視鏡検査・造影検査
※検査 B：外来手術（乳腺腫瘍摘出・リンパ節生検等）
※検査 C：下部消化管内視鏡検査・PTCD・PTGBD・ERCP・造影検査

【連携施設紹介:24. 国際親善総合病院】
(http://shinzen.jp/) 連携施設担当者名:佐藤 道夫



横浜市泉区の中核病院として、ほぼ全ての領域の外科的疾患を扱っており、5 名のスタッフは、それぞれの専門性を活かして診療をしています。専攻医にはガイドラインに準拠して、開胸開腹の手術から腹腔鏡の手術まで指導していきます。検査は、上下部内視鏡や ERCP 等を指導します。常時、消化器内科、放射線診断科とカンファレンスを行っており、横断的な診断治療を学んでもらいます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:45- 8:15 抄読会				○			
8:00-8:15 勉強会				○			
8:15-8:30 症例カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00-17:00 外来	○	○	○	○	○		
9:00-17:00 手術	○			○	○		
9:00-17:00 内視鏡・検査		○	○		○	○	
16:00-16:30 病棟カンファレンス	○						
7:30-8:30 消化器科・診断科　合同カンファレンス				○			
7:30- 8:30　術前カンファレンス	○						
18:00-19:00 内視鏡カンファレンス				○			
8:30-8:40　ICU カンファレンス	○	○	○	○	○	○	
8:30-9:00　総回診	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00 外来						○	

【連携施設紹介:25. 埼玉メディカルセンター】
(http://saitama.jcho.go.jp) 連携施設担当者名:唐橋 強



当院は、人口 122 万人の政令指定都市　さいたま市にあり総病床数 395 床（うち外科病棟 46 床）の地域中核病院です。外科は主に一般消化器、呼吸器、乳腺疾患を対象に診療しており、NCD 年間登録症例数はそれぞれ、
470，60，220 例程で、うち内視鏡（腹腔鏡、胸腔鏡）手術は 160 例を占めます。緊急手術適応となる急性疾患も積極的に診療しつつ、埼玉県がん診療指定病院として高度な悪性腫瘍手術にも取り組んでいます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 抄読会			○				
8:30-9:00 手術症例検討会		○			○		
8:00-9:00 カルテ回診				○			
8:00-9:00 手術症例手術決め	○						
9:00-12:00 外来	○	○	○	○	○		
9:30- 手術	○	○	○	○			
9:30-12:00 上部内視鏡			○	○	○		
9:30-12:00 下部内視鏡	○				○		
13:00-ＥＲＣＰ					○		
17:00- 消化器、放射線科合同カンファレンス				○			
17:00- 病理カンファレンス	○						

【連携施設紹介:26. 佐野厚生総合病院】
(http://jasanoko.or.jp/) 連携施設担当者名:池田 謙



当院は 13 年前に新築移転した 531 床（22 診療科、外科病床 50 床）の総合病院です。外科はスタッフ 6 名（うち内視鏡外科学会技術認定医 2 名）、後期研修医 2 名の計 8 名で、院内外の良好な医療連携の下、腹腔鏡手術を中心に年間 550 件前後の一般・消化器外科領域の手術をこなしています。専攻医は慶大外科プログラムに沿い、優れた研修環境の下、数多くの手術経験や論文作成を含め、幅広く外科臨床を研鑽することができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 抄読会、勉強会						○	
7:30-8:30 朝カンファレンス					○		
8:30-10:00 回診	○		○	○	○		
10:00-12:00 午前外来		○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○		○		○		
9:00- 消化器内視鏡検査		○	○	○		○	
17:30- 内科外科合同カンファレンス	○						

【連携施設紹介:27. 立川病院】

(https://tachikawa-hosp.kkr.or.jp/) **連携施設担当者名:似鳥　修弘**



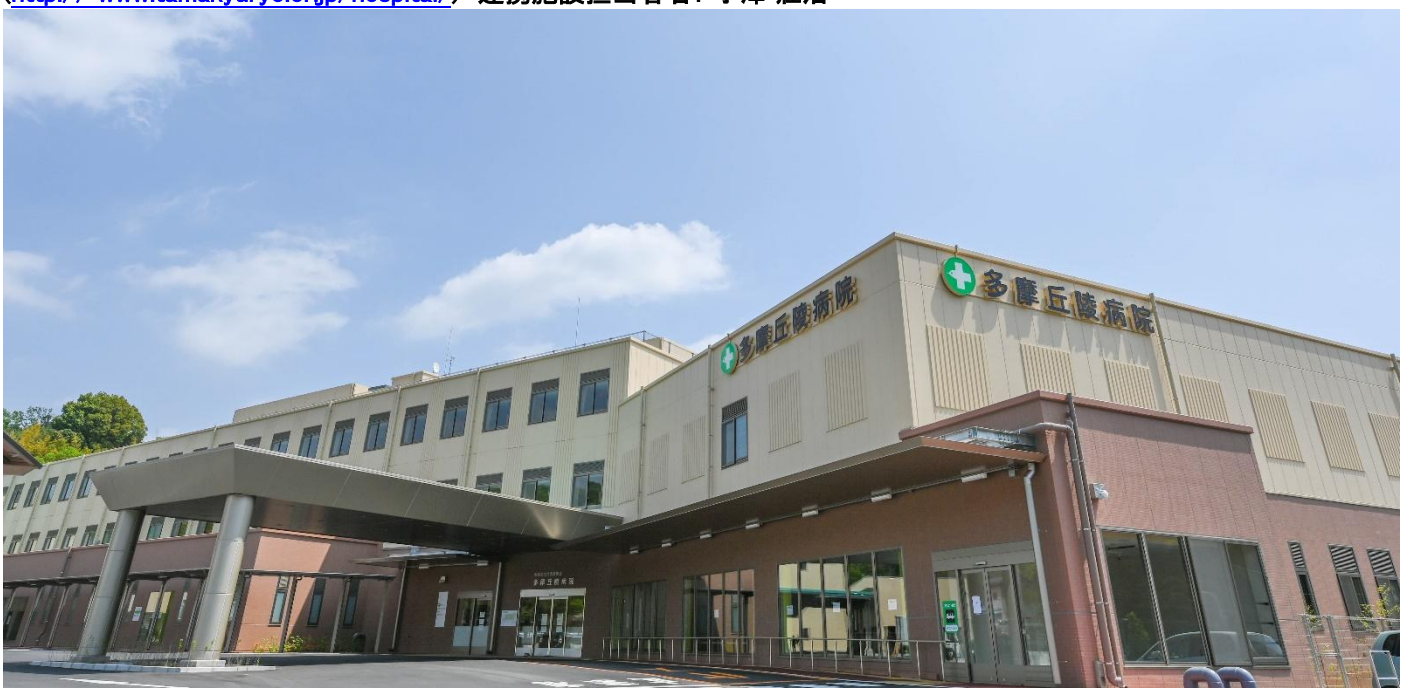
外科研修では、消化器外科、血管外科、乳腺外科、呼吸器外科の研修を行えます。多くの最先端の鏡視下手術が経験できる体制を整えております。1年間の研修の中で、最終的にはほぼ全ての疾患にて手術術者を経験することが出来ます。さらに、多摩地区での研究会も多数開催され、研究発表の機会も十分に持つ事ができます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:30 病棟カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00-9:30 病棟業務	○	○	○	○	○		
9:30- 手術	○	○	○	○	○		
9:00- 内視鏡検査			○	○			
16:30- 呼吸器合同カンファレンス					○		
17:00-　外科合同カンファレンス			○				

【連携施設紹介:28. 多摩丘陵病院】

(http:// www.tamakyuryo.or.jp/hospital/) 連携施設担当者名: 小澤 壯治



当院は東京都町田市の北西に位置する病院です。診療内容は、消化器外科、乳腺外科の他、上下部消化管および膵・胆道系内視鏡検査も行っています。
手術件数は約 300 例／年です。内訳は胃、大腸、乳腺、肝胆膵の悪性腫瘍が約 100 例、胆石、ヘルニア、虫垂炎が約 130 例です。胃、大腸手術や虫垂炎に対しては過半数を腹腔鏡手術で行っています。研修に当たっては虫垂炎、ヘルニア、胆石症、胃切除、大腸切除なども執刀していただいています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:30 カンファレンス	○			○			
16:30-17:00 抄読会(月 1 回)				○			
8:30-9:00 総回診	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術(火曜日は隔週 13:00-、水曜日は午前のみ)	○	○	○	○	○		
9:00- 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00 上部消化管内視鏡検査		○	○			○	
13:00-17:00 下部消化管内視鏡検査 ドレーン造影検査			○				
17:00- 病理合同カンファレンス(月 1 回)				○			

【連携施設紹介:29. 日本鋼管病院】
(http://www.koukankai.or.jp) 連携施設担当者名:柳　在勲



消化器外科を中心とし、末梢血管外科の症例を含めた手術および周術期管理を学ぶ。一般的な手術の助手とヘルニア、虫垂炎、痔核、下肢静脈瘤、CV ポート挿入などの術者より始め、局所解剖を理解したのち胃切除、大腸切除、腹腔鏡下胆嚢切除などの術者を務める。技量に応じて肝切除なども行う。そのほか消化器内視鏡検査や CART などの病棟処置も行なう。また内科・放射線科との合同カンファレンスをおこない、診療科横断的な症例検討を行なっている。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
外来	○	○	○	○	○	○	
専門外来(乳腺、血管、肛門)	○	○		○	○		
9:15-病棟回診	○	○	○	○	○	○	
内視鏡		○		○			
9:00-手術	○		○		○		
12:00-13:00 カルテ回診、術前カンファレンス		○					
17:30-18:30 外科・内科・放射線科・病理合同カンファレンス		○					

【連携施設紹介:30. 公立福生病院】

(http:// www.fussahp.jp) 連携施設担当者名:仲丸 誠



当院は東京都下の中規模第二次医療機関で症例数に恵まれていることから、ほとんどの臨床科で通常疾患の経験を十分に積むことができると考えています。また、有病率が非常に少ない疾患で都内の大学病院などに紹介せざるを得ない場合でも、その地の利から経過の把握がしやすく、紹介した後に何の情報も得られないということが回避できると思われます。また、東京都指定二次救急医療機関として内科系、外科系の医師 2 名体制で休日・全夜間救急診療を行っており、東京都脳卒中急性期医療機関にも指定されています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:45-9:30 病棟回診	○	○	○	○	○		
9:30- 手術	○	○	○		○		
16:30- 手術症例術前カンファレンス			○				
16:30- 病棟症例カンファレンス				○			

【連携施設紹介:31. 北里大学北里研究所病院】

(http:// www.kitasato-u.ac.jp/hokken-hp/) 連携施設担当者名:石井 良幸



当院における年間の外科手術件数は約 700 件です。ほとんどの消化器疾患、肺がんを中心とする胸部外科疾患、乳がんなどの乳腺疾患、大動脈瘤や静脈瘤などの血管外科疾患、そしてヘルニアや肛門疾患など幅広く診療を行なっています。それぞれ学会の専門資格を有する医師が中心となって診療を行なっており、鏡視下の低侵襲手術も積極的に行っています。病院理念である「心ある医療」を実践するべく、コメディカルスタッフを含めたチーム医療による多角的な診療とケアを行なっています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:45- 8:30 外科術前カンファレンス					○		
7:30- 8:00 内科・外科カンファレンス		○					
8:00- 8:30 抄読会、病理カンファレンス、ビデオクリニック		○					
8:30-17:00 病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30-12:00 病棟業務(第 1, 3, 5)						○	
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○	○		
13:30-17:00 午後外来	○	○	○	○	○		
17:00-18:00 部長回診、外科カンファレンス			○				
9:00-17:00 手術	○	○	○	○	○		
9:00-12:00 手術(第 1, 3, 5)						○	

【連携施設紹介:32. 練馬総合病院】

(http:// www.nerima-hosp.or.jp) 連携施設担当者名:栗原 直人



当院は 224 床と中規模の都市型病院であり、患者は比較的高齢者が多い、ヘルニアから肝切除まで幅広く研修できる。外科専攻医が一人であるため外科手術のほとんどに関与することになり、非常に多くの症例を経験できる。過去の専修医の場合は 1 年間で術者 200 例、助手 200 例程度の手術経験が可能であった。仕事はハードだがそれに見合った知識・経験が得られることを保障する。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 抄読会					○		
8:15-9:00 朝カンファレンス(曜日により時間変更あり)	○	○		○	○		
8:00-9:00 術前術後カンファレンス			○				
8:30-9:00 内科外科合同カンファレンス		○					
14:30 総回診					○		
9:00-10:30 病棟業務(曜日により時間変更あり)	○	○	○	○	○		
10:00-12:00 内視鏡検査			○				
9:30- 手術(曜日により時間変更あり)	○	○		○	○		
13:30- 手術	○	○	○	○	○		
17:00-17:30 医局会(第三水曜日)			○				

【連携施設紹介:33. 国際医療福祉大学三田病院】

(https://mita.iuhw.ac.jp/) **連携施設担当者名:星本 相淳**



国際医療福祉大学三田病院は、東京の中心部に位置し、都心の地域医療を長年担ってきた伝統をふまえた、患者様本位で温かな医療を提供する病院です。当院では、診療科の垣根を越えたセンター方式を導入しております。常に患者様を中心に据え、37 の診療科・センターが強く連携しチーム医療・チームケアを実践しています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 朝カンファレンス	○	○	○	○		○	
8:30-9:00 全員回診	○	○	○	○		○	
9:00-16:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
10:00-12:00 午前外来					○		
9:00- 手術	○	○	○	○		○	
16:30-17:30 夕回診	○	○	○	○	○	○	
17:30- 手術カンファレンス	○						
18:30- 病理合同カンファレンス				○			

【連携施設紹介:34. 川野病院】

(http:// www.kawano.or.jp/) **連携施設担当者名:川野 幸夫**



当院は立川駅より徒歩 5 分にあり外科、内科、整形外科、皮膚科、肛門科の専門医による診療を行っています。急性期医療を中心に 2 次救急指定機関として救急対応もしています。消化器疾患には力をいれており内視鏡検査や治療内視鏡も行っており年間 2,000 件以上の実績があります。手術は痔疾患、鼡径ヘルニアを中心に腹腔鏡手術も積極的に行っており年間 150 件ほどの症例があります。外科専門医 2 名にて丁寧な指導を心掛けています。

【週間予定】

月	火	水	木	金	土	日
8:30-9:00 病棟業務	8:30-9:00 病棟業務	8:30-9:00 病棟業務	休暇	8:30-9:00 病棟業務	8:00-9:00 病棟業務	
9:00-12:00 内視鏡検査	9:00-13:00 午前外来	9:00-12:00 手術	休暇	9:00-11:00 内視鏡検査	9:00-14:00 午前外来	
13:00-1700 内視鏡検査	13:30-14:00 カンファレンス	13:00-17:00 手術	休暇	11:00-1200 病棟業務	14:30-17:00 病棟業務 Q Q対応	
	14:00-15:30 病棟業務			13:00-15:30 内視鏡検査		
	15:30-17 時 午後外来			15:30-17:00 午後外来		

【連携施設紹介:35. 上尾中央総合病院】

(http:// www.ach.or.jp/) 連携施設担当者名:岡本 信彦





当院は、JR 高崎線の上尾駅から徒歩 3 分の場所に位置している。現在の病床数は 724 で、人口 24 万人の上尾市のみならず保健医療圏の基幹病院としての役割を担っている。190 名の医師が常勤しており、うち初期研修医は 31 名である。

当院の消化器外科と呼吸器外科、心臓血管外科は、各々の学会の修練施設に認定されている。また、虫垂切除術から肝切除術に至るまで様々な手術を腹腔鏡下に施行している。さらに、当院にはダビンチが導入されているため、消化器外科領域にもロボット手術を開始すべく準備を進めている。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
9:00-13:00 外来	○	○	○	○	○	○	
14:00-17:30 外来	○	○	○	○	○		
9:00-17:30 手術	○	○	○	○	○		
9:00-13:00 手術						○	
10:00-11:00 外科合同回診	○	○	○	○	○	○	
8:00-8:30 研修医ミニカンファレンス	○	○	○	○	○		
8:30-9:00 外科合同カンファレンス		○			○		
8:20-9:00 多職種合同カンファレンス					○ (第2・4)		
18:30-20:00 消化器、病理腫瘍内科、外科合同キャンサーボード				○ (第3)			
17:30-18:00 消化器・外科症例検討会	○ (第2・4)						
17:30-19:30 外科術前検討会	○						
19:30-20:30 M&M カンファレンス	○ (第4)						
18:00-19:00 乳がんキャンサーボード				○ (第4)			
18:00-19:00 肺がんキャンサーボード			○ (第3)				
7:30-8:30 抄読会						○ (第1・3・5)	

【連携施設紹介:36. 湘南東部総合病院】
(http://fureai-g.or.jp/tobu/) 連携施設担当者名:櫻井 嘉彦



当院は平成 12 年開設の比較的新しい病院で、茅ヶ崎市・寒川町の急性期医療を担っています。病床数は 273 床、うち外科は一般・消化器、乳腺、大血管・末梢血管を中心に 5 名のスタッフで約 30 床を担当しています。外科の手術症例はここ数年 360～400 件前後で推移していますが、胃癌・大腸癌などの消化管悪性腫瘍手術が増加傾向です。最近は腹腔鏡手術が増加しており、腹部救急疾患に対する緊急手術もあります。外科指導医・専門医、消化器外科指導医・専門医、消化器内視鏡指導医・専門医が常勤しており、開腹手術から腹腔鏡手術の基本手技の研修が十分に受けられると考えます。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-9:00 病棟回診、病棟カンファレンス	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○		○				
8:00-17:30 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:00-16:30 外来	○		○		○	○	
17:00- 消化器クラスターカンファレンス					○		
9:00-16:00 内視鏡		○		○	○		
13:00- 手術		○			○		

【連携施設紹介:37. 国立がん研究センター中央病院】

(http:// www.ncc.go.jp/jp) 連携施設担当者名:高山 伸

国立がん研究センターは、1962 年にわが国のがん医療・がん研究の拠点となる国立の機関として創設されて以来、60 年にわたり、日本のがん医療と研究を牽引する役割を担い続けています。
東京都築地の「国立がん研究センター中央病院」では、「研究所」、「がん対策研究所」、「がんゲノム情報管理センター」が一体となりアカデミックセンターを形成し、予防、診療、研究、研修、情報収集・発信の分野において、わが国のがん施策の中心的な役割を果たして来ました。

また、がん医療従事者の教育・育成を重要なミッションと捉え、幅広い知識と技術を習得したがん医療の専門医の育成を目指しています。外科部門は、呼吸器外科・食道外科・胃外科・大腸外科・肝胆膵外科・乳腺外科の 6 診療科のうち 1 コースを選択しての研修や、複数診療科での研修、関連部門（外科病理等）での研修も調整が可能です。年間 5,000 件を超える手術に表されるよう、豊富な症例数もさることながら、外科治療のみならず、薬物療法、放射線療法、診断学等、実践的知識を身につけられる数少ないがん医療機関です。

世界最高水準のがん診療・研究環境・教育環境を整えた当センターで、がん医療の専門医への確かな一歩を踏み出してください。



【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00- 外科・腫瘍内科合同カンファレンス		○					
8:00- 抄読会・予演会					○		
7：30-8：30　病棟業務・回診	○	○	○	○	○		
8：45-17：00　手術	○	○	○	○	○		
17：00-18：00　術前カンファレンス	○						
17：00-18：00　症例検討会		○					

【連携施設紹介:38. 国立がん研究センター東病院】
(http://www.ncc.go.jp/jp/index.html) **連携施設担当者名:大西　達也**



1992 年に千葉県、柏の葉に発足したがん研究センター東病院。つくばエクスプレス（TX）の利用で都心から 45 分の地にあります。当院の研修プログラムは、がんに対する外科治療の中枢を担うべき人材育成を目指しています。臓器別にはなりますが、さまざまな外科領域に必要とされる技術や考え方を習得するために、多数の症例を短期間に集中的に学びます。当プログラムの最大の特徴は、研修医の自主性や学習意欲を重視し、自分の研修したい科を好きな期間研修することが可能であることです。「求めよ、さらば与えられん！」

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 カンファレンス	○	○	○	○	○		
8:30-16:45 病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○	○		
13:00-16:45 午後外来	○		○		○		
8:45-16:45 手術		○	○	○	○		
8:00-8:30 回診					○		
17:00-乳腺合同カンファレンス　第 1, 3			○				
17:30-放射線診断合同カンファレンス　毎週			○				
17:00- 病理合同カンファレンス　第 3 or 4					○		

【連携施設紹介:39. 静岡県立静岡がんセンター】
(http://www.scchr.jp/) 連携施設担当者名:坪佐 恭宏



2002 年の開院以来、患者さんの視点の重視を基本理念にがん診療を行なっております。
本プログラムに関連する手術数は消化管、呼吸器、乳腺を合わせて年間約 2,200 例で、専門研修指導医数は 21 人と充実しています。また胸腔鏡および腹腔鏡を含む内視鏡手術数も年々増加しており、特にロボット支援手術は早くから導入しており全国でも屈指の手術数となっています。全国各地から外科レジデントとして若手外科医が集まる施設でもあり切磋琢磨できる環境です。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:15-7:45 抄読会			○				
7:45-8:30 回診	○	○	○	○	○		
8:30-9:00 病棟業務、申し送り等	○	○	○	○	○		
9:00-17:00 手術	○	○	○	○	○		
17:30-20:30 外科カンファランス	○						
17:30-18:30 病棟多職種カンファランス		○					
17:30-18:30 キャンサーボード			○				
9:00-10:00 休日回診(当番医のみ)						○	○

【連携施設紹介:40. 東京医科大学八王子医療センター】
(http://hachioji.tokyo-med.ac.jp) **連携施設担当者名:河地 茂行**



東京医科大学八王子医療センターは、東京医科大学附属病院の一つであり、大学病院として肝・腎移植医療などの先進医療を手がけるとともに、南多摩医療圏の地域医療を支える中心的な病院です。連携の中核となる消化器外科・移植外科はセンター唯一の独立した教室で、独自の医局員を持ち、高難度～低侵襲手術まで患者様に最適な外科診療を提供しています。消化器外科のみならず腎移植・腎不全外科まで、定時手術だけでなく多数の緊急手術まで、幅広い外科学が学べる診療科です。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:00　抄読会		○			○		
8:00-9:00　症例検討カンファレンス(放射線科合同)		○			○		
9:00-12:00　病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00　午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:00-　手術	○	○	○	○	○	○	
16:00-17:30　総回診(教授回診)					○		
18:00-19:00　内科外科合同カンファレンス		○					
8:00-9:00　移植カンファレンス	○						
8:00-9:00　腎センター合同カンファレンス	○						

【連携施設紹介:41. 国立成育医療研究センター】
(http://www.ncchd.go.jp/) 連携施設担当者名:下島 直樹



国立成育医療研究センター病院は、日本で最大規模の小児・周産期・母性医療を専門とする唯一の国立高度専門医療センターです。
外科では、国内有数の手術症例数を誇っており、特に小児固形腫瘍、新生児外科疾患においては国内をリードしております。また移植外科、小児心臓血管外科症例数は国内トップを誇り、特に小児肝移植症例数ならびに治療成績は世界をリードしております。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 抄読会、勉強会					○		
8:00-9:00 朝カンファレンス	○						
9:00-11:00 病棟業務	○	○	○	○	○		
10:00-12:00 午前外来	○	○	○	○	○		
9:00- 手術	○		○	○	○		
18:00- tumor board				○			
17:30- 周産期カンファレンス	○						
17:00- 放射線合同カンファレンス		○					

【連携施設紹介:42. 東京都立小児総合医療センター】
(https://www.tmhp.jp/shouni/) **連携施設担当者名:富田 紘史**



本院は小児の専門、急性期医療を提供しています。外科系は小児外科（消化器外科、呼吸器外科）、心臓血管外科、脳神経外科などがあり、年間手術件数は外科系全体で 3,543 件、小児外科は 997 件です。
小児外科は、お子さんの成長を考え、治療後何十年にもわたる生活を保障できる手術を考慮する必要があります。しかし、基本技術は一般成人外科と共通しており、一般外科の基本技術を身につけることが必要不可欠です。外科専修医として外科の基本技術の研修をされ、さらに小児の外科治療の世界にも興味がある若者に小児病院の世界を経験していただく機会がもてればと希望します。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
外来 （9:00-13:00）	○	○	○	○	○	○	
外来 （14:00-17:30）	○	○	○	○	○		
手術 （9:00-17:30）	○	○	○	○	○		
手術 （9:00-13:00）						○	
外科合同回診 （10:00-11:00）	○	○	○	○	○	○	
研修医ミニカンファレンス （8:00-8:30）	○	○	○	○	○		
外科合同カンファレンス （8:30-9:00）		○			○		

【連携施設紹介:43. 赤坂見附前田病院】
(http://maeda-hospital.or.jp/about.html) **連携施設担当者名:前田 祐助**



当院は、1927 年（昭和 2 年）に前田外科病院として港区伝馬町(現在の元赤坂)に開設し、1998 年（平成 10 年）に前田病院と名称を変更しました。外科・内科・整形外科を中心として専門医による診療を行っています。区健診や人間ドックから始まり、早期癌に対する内視鏡治療、腹腔鏡を含めた消化器手術を年間 60 件程度行っています。また、内視鏡検査は年間 2,400 件以上の実績があります。関連病院の一つとして地域医療に貢献して参ります。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:15-8:30 総回診			○				
8:30-8:40 朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00-12:30 外来	○				○		
9:00- 手術			○	○			
9:00- 内視鏡検査		○					
13:30- 手術				○	○		
13:30- 17:30 外来	○		○				

【連携施設紹介:44. 山梨県立中央病院】
（http:// www.ych.pref.yamanashi.jp/） 連携施設担当者名：後藤 太一郎



山梨県の基幹病院として、各診療分野において高度専門的医療を行っている。
また、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、通院加療がんセンターやゲノム解析センターを有し、公的医療機関でなければ対応困難な高度、特殊、先駆的な医療を実施しており、山梨県における医療水準の向上に努め、県民の健康維持、増進に寄与している。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:00　朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
8:00-8:30　抄読会			○				
8:30-12:00　外来		○		○			
8:30-17:00　手術	○		○		○		
12:00-17:00　病棟業務		○		○			
17:00-18:00　病理カンファレンス		○					
17:00-18:00　遺伝子研究カンファレンス				○			
17:00-18:00　放射線診断カンファレンス					○		

【連携施設紹介:45. 榊原記念病院】

(http:// www.hospital.heart.or.jp) 連携施設担当者名:岩倉具宏



当院は、昭和 52 年 11 月、我が国心臓外科のパイオニアの一人である故 榊原 仟 東京女子医科大学 教授が循環器専門病院として渋谷区代々木に設立したことに始まり、平成 15 年 12 月には現在の府中市に循環器医療と救急医療を主とした専門病院として新築・移転しました。心臓血管外科手術においては先天性、成人、末梢血管と年間 1,700 例近い手術実績があります。こうした手術症例数の多い病院で充実した研修が行えるもの考えております。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:00 朝カンファレンス 回診	○	○	○	○	○		
8:00-9:00 病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00-12:00 外来	○	○	○	○	○		
9:00- 手術	○	○	○	○	○		
17:30 循環器、心臓血管外科手術カンファレンス		○					
9:00-12:00 抄読会、勉強会、ウェットラボ						○	

【連携施設紹介:46. 横浜市立市民病院】

(http://yokohama-shiminhosp.jp/) 連携施設担当者名:吉津 晃



当科では、原発性肺癌・転移性肺腫瘍・気胸や縦隔腫瘍・膿胸・炎症性疾患、三次救急病院として外傷や特発性血気胸などの疾患について対応し、手術は 200 件／年以上になります。地域がん診療連携拠点病院であり、胸部悪性疾患の手術数が多く JCOG などに所属し新しい治療の開発に取り組んでいます。

【週間予定】

消化器	月	火	水	木	金
午前	術後カンファレンス 手術 病棟処置	手術 病棟処置	術前カンファレンス 部長回診 病棟処置	手術 病棟処置	手術 病棟処置
午後	手術 グループ回診	手術 グループ回診	手術 グループ回診	手術 グループ回診	手術 グループ回診
その他					

ＩＢＤ	月	火	水	木	金
午前	術後カンファランス 病棟業務	病棟業務	術前カンファランス 部長回診	手術	手術
午後	病棟業務 術前カンファランス 準備	病棟業務 術前カンファランス 準備	手術	病棟業務	病棟業務
その他					

乳腺	月	火	水	木	金
午前	術後カンファランス 病棟業務または手術	手術	術前カンファランス外来	手術	手術
午後	病棟業務または手術 病棟回診	手術	病棟業務 病棟回診	手術または 化学療法外来 病棟回診	病棟業務 病棟回診
その他					

心血管	月	火	水	木	金
午前	病棟加療 外来診療	手術 病棟加療	手術 病棟加療・検査	手術 病棟加療	手術 病棟加療
午後	病棟加療 外来診療	手術 病棟加療	病棟加療 外来診療	手術 病棟加療	病棟カンファランス 術前カンファランス
その他	循環器内科とのカンファランス	術後管理 病棟加療			

呼吸器	月	火	水	木	金
午前	手術 病棟処置	病棟処置 外来	手術 病棟処置	手術 病棟処置	病棟処置 外来
午後	手術 カンファレンス	病棟処置 カンファレンス	手術 病棟処置	手術 病棟処置	検査
その他			病理カンファレンス		

【連携施設紹介:47. 柏厚生総合病院】
(http:// www.kashiwakousei.or.jp/) 連携施設担当者名:山村　圭司



当院はがん診療連携協力病院であり、高度急性期病院として年間 1,000 件を超える外科領域の NCD 登録手術数を有します。外科スタッフは 9 名で、上部消化管、肝胆膵、下部消化管、血管、乳腺甲状腺の 5 領域に分かれて専門制を敷いており、各領域の指導医・専門医から手術を中心に質の高い先進的な指導を行います。高難易度手術から低侵襲手術まで幅広い研修が受けられるように心がけています。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
手術カンファレンス				○			
病棟カンファレンス(抄読会:月1開催)		○					
手術・病棟	○	○	○	○	○	○	
上部内視鏡			○		○		
外来						○	
キャンサーボード				○			
症例カンファレンス	○			○	○		
下部内視鏡		○	○				
ER 当番	○			○	○		

【連携施設紹介:48. 医療法人社団 健育会 湘南慶育病院】
（https://keiiku.gr.jp/） 連携施設担当者名：志田　敦男



湘南慶育病院は 2017 年 11 月に神奈川県藤沢市の「健康と文化の森地区」に開院致しました。一般病棟、地域包括病棟、回復期病棟の計 230 床で構成される、いわゆるケアミックス病院でございます。急性期から慢性期まで幅広い層の患者さんにシームレスな医療の提供が可能です。また、当院は慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスと隣接しており、健康増進の共同研究を行っていくことも目標のひとつとしております。手術室は 4K ハイビジョンと 3-D スコープを完備しており、先進的な手術を行える環境が整っております。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:45　病棟回診	○	○	○	○	○		
8:45-9:00　朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00-12:00　外来業務	○	○	○	○	○		
9:00-16:00　内視鏡検査	○	○	○	○	○		
13:00-17:00　手術	○		○		○		
17:00-17:30　麻酔科合同術前術後カンファレンス			○				

【連携施設紹介:49. 国際医療福祉大学熱海病院】

(http://atami.iuhw.ac.jp/) 連携施設担当者名:山田 六平



国際医療福祉大学熱海病院は、2016 年 4 月に認定された地域がん診療病院として、また地域の 2 次救急医療をご提供する救急医療の拠点としても大きな役割を果たしております。当外科の特徴は、消化器センターの一部門として消化器内科と連携し、消化器外科領域の診療にあたっています。手術としては、開腹手術はもちろん、胸腔鏡・腹腔鏡による各種消化管手術をおこなっております。

【週間予定】

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-8:00 回診・病棟業務	○	○	○	○	○	○	
8:00-8:30 抄読会			○				
8:30-9:00 全体カンファレンス						○	
9:00-12:00 外来/手術	○	○	○	○	○	○	
12:00-17:00 手術/病棟処置	○	○	○	○	○	○	
8:30-17:30 透析室回診	○					○	
14:00-15:00 腎病理カンファレンス		○					
8:30-9:00 学会予演会	○					○	

【連携施設紹介:50. 埼玉県済生会加須病院】
https://saikazo.org/　連携施設担当者名:岩本　一亜



当院は埼玉県の北東部に位置する地域の拠点病院です。2022 年 6 月に現在の久喜市から加須市に移転しました。名称も済生会栗橋病院から済生会加須病院となりました。外科は一般消化器、末梢血管、乳腺、肺の専門医が揃い、幅広く手術を行っています。伝統的に鏡視下手術に強い病院で、新病院移転に伴いダヴィンチ Xi が導入されロボット手術を強化しています。また心臓血管外科が新設され、三次救急が始まりました。外科のスタッフは少人数ですが息の合ったチームで、コメディカルも協力的で働きやすい病院です。

	月	火	水	木	金	土
8:30-9:00 病棟回診	○	○	○	○	○	
9:00-12:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○
9:00-17:00 手術	○	○	○	○	○	
16:00-17:00 手術・病理カンファレンス			○			
17:00-17:30 死亡症例カンファレンス			○			
17:45-18:00 病棟カンファレンス	○	○	○		○	
18:00-18:15 新患カンファレンス	○	○	○	○	○	
18:15-18:30 病棟回診	○	○	○	○	○	
17:30-18:00 病棟合同カンファレンス				○		
18:00-18:30 抄読会・勉強会				○		